

中村俊定文庫

文庫 18

723





在原文庫叙

名も山々かきもねりやまに歌もあれ
がらま歌といふもくろくあつたはまらうゆ
おしんつはつはあしんりぬきを車はく
たしむもさうさうさうさうさうさうさうさ
ゆきまはしつがうまのゆきまはしつがうま
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさ
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさ



よの人なむつらむらねのみはむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 うらむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 今らむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 らむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 らむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 らむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 らむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 らむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね

中一をむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね
 らむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね

享和二年十二月 北邊のむらねむらねむらねむらねむらねむらねむらね

余俳諧子ころろきとを無村に童の袖をかきうりしより昼夜
 忘れ^しと筆拙^しを流^しる^しとも多^ししハ奥旨^を
 自筆此書画を^もと知^りて^も冊と^し私別在原寺表
 文庫の^よ月^のを^のあ^ふ存^行を^も君^の
 出^る節^をと^もあ^ふの^をむ^らね^むら^ね
 らむ^らね^むら^ねむ^らね^むら^ねむ^らね^むら^ねむ^らね^むら^ねむ^らね^むら^ねむ^らね^むら^ね

時種の
 在原買山
 世よ業を
 意遠



梅溪
 丙

涼しき此方
あまのほ夜や女婦人
秀蝶

一のひま
はのねる能尔
誰か軒松

眼のとろろ
切つてを
川系や
渡鳥
伏水
市泉

大坂芳中道

在るの

一本

露がたき

心くちまは

まのり

和歌河系
妙光尼



買らばのぬし
 此の御
 ねく法ぬ
 集丹
 物さふ
 りる
 号く
 利あ
 五



長陸

長陸

立春
 春の雪はまじく消えぬにありしの
 山乃端うす雪はまじく消えぬにありしの

春の雪はまじく消えぬにありしの
 山乃端うす雪はまじく消えぬにありしの
 張海

竹
 春の雪はまじく消えぬにありしの
 山乃端うす雪はまじく消えぬにありしの
 興則



芳中
 春の雪はまじく消えぬにありしの
 山乃端うす雪はまじく消えぬにありしの
 興則

正原文章

果町買山哉

静かなるのよ
しるあり松の系
生白

薺や寸陰の
牧方 鋤川
眉をえんと種

くらしめ
朝乃風
瑞雪



照長記

くも
あ
時
ま
静かなるのよ

先由國記



芳中園

ふれり

たさ

あ

り

あ

昭定

陽さや結くを解く縹ふ糸帯

去書

声くはれあそびをきく乃
 声くはれあそびをきく乃
 無通

あそびの
 角てあそ
 ぶあそびの
 あそび
 あそび

吳竹の里なる買山叟はあはれ御門の好者ふし
 中も金蘭の交友なり花の春月のあそびを
 相推して遠近に勝景を逐ひみよふ、轄投
 盃を啣て蒸凍の時杖を忘る風談を恥じ
 錦綉の句を需りし一帖を玉筋の画は
 在原文庫にありしをせん玉筋の画は
 似しとて枯腸に語を慚に毫も遅日高の
 窓下

白き花を
 黄なる花を

洛春波



蜂の子の世を

逆平

順ふると思ひては
 なまふ身を覺束ねし

梅溪自題

あ

燕の糞かりり利借蒲園 谷蝶

縫糸のりり 志の川系 王徳

之消るる一をゆるして 理祝



卯 勢只津僧 巳 陵

白雉 口

石 燧

松 河

才少くも人少くも
橋よりくわゆる人子身一糸

伏見

つりや影よ
くまのつねはる

伏見

巴天

山崎の滝
松葉

糸帯今井

至元

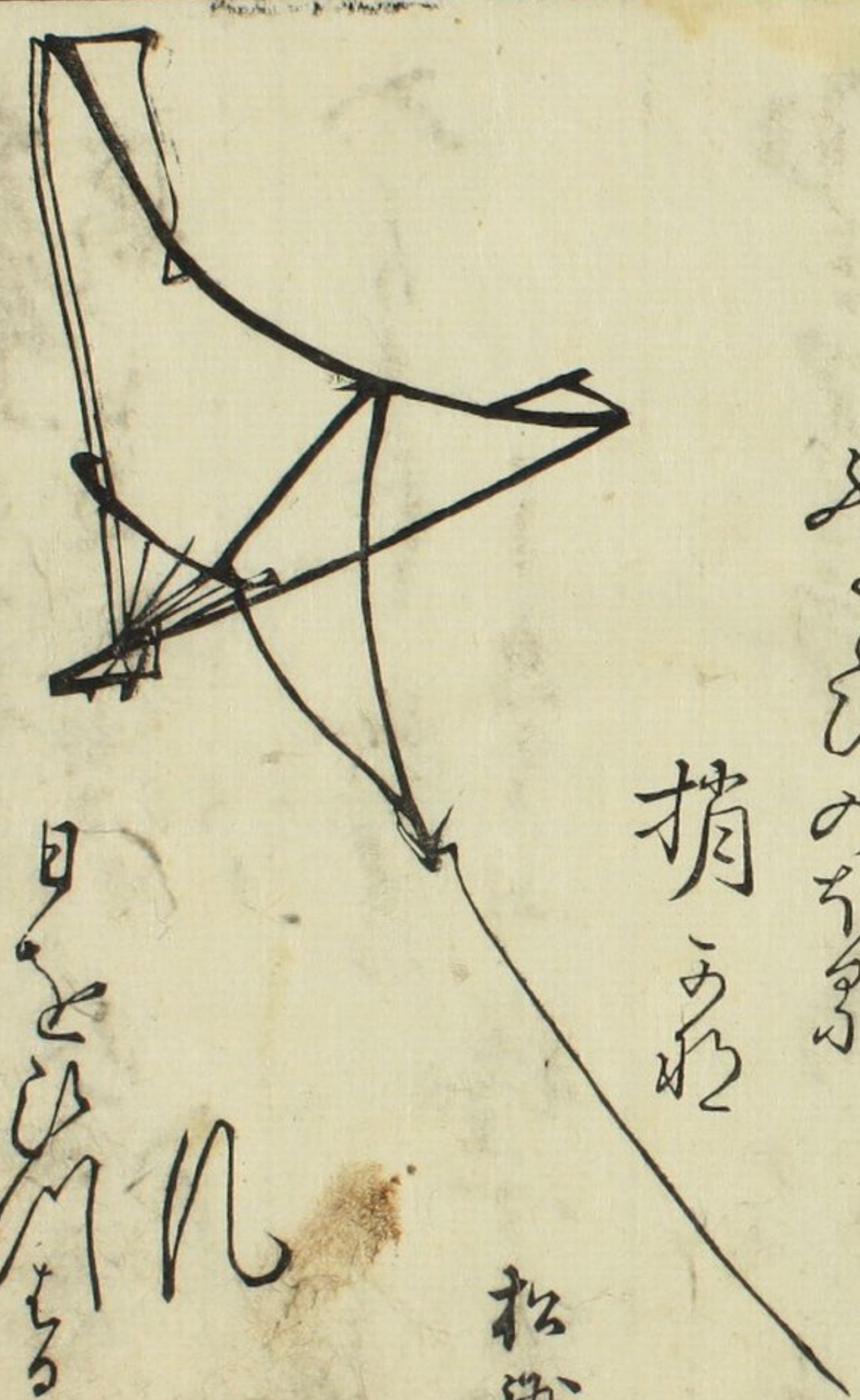
さし紙鶴

あまのち系

買山

捐あね

松海



流如家

日と山

凡中

吳竹

春人

折檻如木之哀あり 治亭
みよ木之

多々や 傍あり
柿花 摺心と月

万歳平 御慶申
大島冠古心 平安遅日亭



三仙吳山

三仙吳山
みよ木之

三仙吳山
みよ木之

せめく 子心 之 心
自由 之 格 細 心
四九 之 人
之 國

年 信 和 之 心 心 心 全

楯 之 多 也 道 行 之 心 乃 全
睦 心 之 心



言 之 心 之 心 之 心
能 之 心 之 心 之 心
能 之 心 之 心 之 心

焼くく瓦

丹保ふや蜂の風

秀蝶

山三有花は折花 松雲山公香海家
風名強る為急處一丹喜山多一涯
天子山三有花 香陣 尾張大佐信

忍く風の池やさう〜此風甚心 加友

巢をともまぬ世を
からけと風の蟬

月居



有文

鶴子晴の
東部
 高野山
 三十六地獄

更此言やふかの
左
 一山
 乃地

曠月小室の
 ありて
 子長
 為ふ
 かく
 教を
 のた
 口
 由
 岐
 年

以道人


有
 ちね
 也
 明六の
 清乃
 持木
 より

在
 是
 所
 坊
 字
 夢



無名氏
松蘿小書
古而致
碎光
補凡

蒼生捕
女
知水
古道

薄
何中
洛
魯雲



之
也

西北屬

花
也

尖
也

鳳
目
資

火より世に聞ふ

信中三國

かゆりあのをゆき 李山

情吟代もさ

切る羽乃さる

文星

てめり中ぬさるあひあ

斗外

一りさ

上三在

女

ル



雪畫 雪圍

梅北花

依水 巴橋

芭蕉の息也持ふん 江州種村
菴の氣良茶碗 魚香悠

松雪の

名存あをさるる月あはる

浪花 丑寅

雪は舞ふ却
ゆらりゆらり
松海堂

小秋石けく

宿らゝ啼

本心くさく

なれもあま

吉く詠盡は

常之由



月乃舟ありあけ
さく保ささむ

浪花拾宜

淡雲も空の景色や
あふれ月 哥蝶

舟母おる
あふれ月 中 芦風



鴉のほろり
家鴨のこゝろ
英のほろり
世三

堤物風子の疎密却
東田午餉田婦西舎
夜春役備
田家雜興
生田
瑞馬

鉦鼓よのこ

おこし〜〜哀々

示笛



なま〜〜と
こゝろ〜〜と
むし〜〜と
さか〜〜と

草子

過くはいかるそ及
 ささふらこと
 平安
 春坡
 芥るる石子鼻打蛙のふ

秋の雪ふり
 ぬふり
 ナニハ
 五寅

井の字は
 井の字の
 西瓜うふ
 フミ
 一爽



花比山入

日も
養を房山家
金子

水多をまうぬ

おもあり
尾奇
河柳
鳥の姿

七夕甲子向の琴や桐史戀

十二
お
輔

拾や

上鳳馬



紅の
まふん

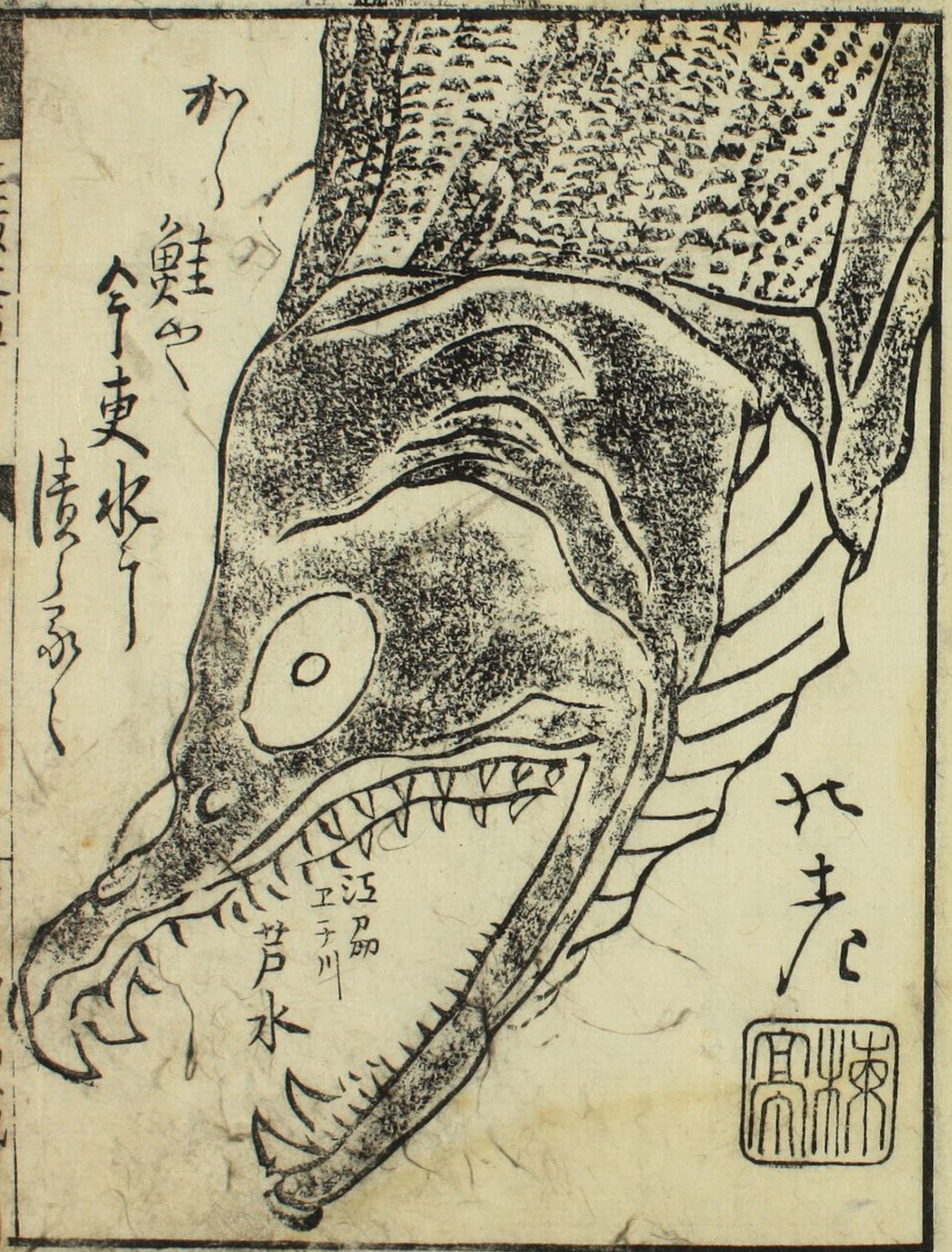
生かす

離
五川

清々好也 芳呂利也
月 武者系難
夾野 秋水

岩春暝
あはははは 津山世れの高志多て
霞よりさる屋と好けぬ乃興則

風梳子初夜色
出方と世れくまは
十六 醉月



初
魁也
今更水
清々好

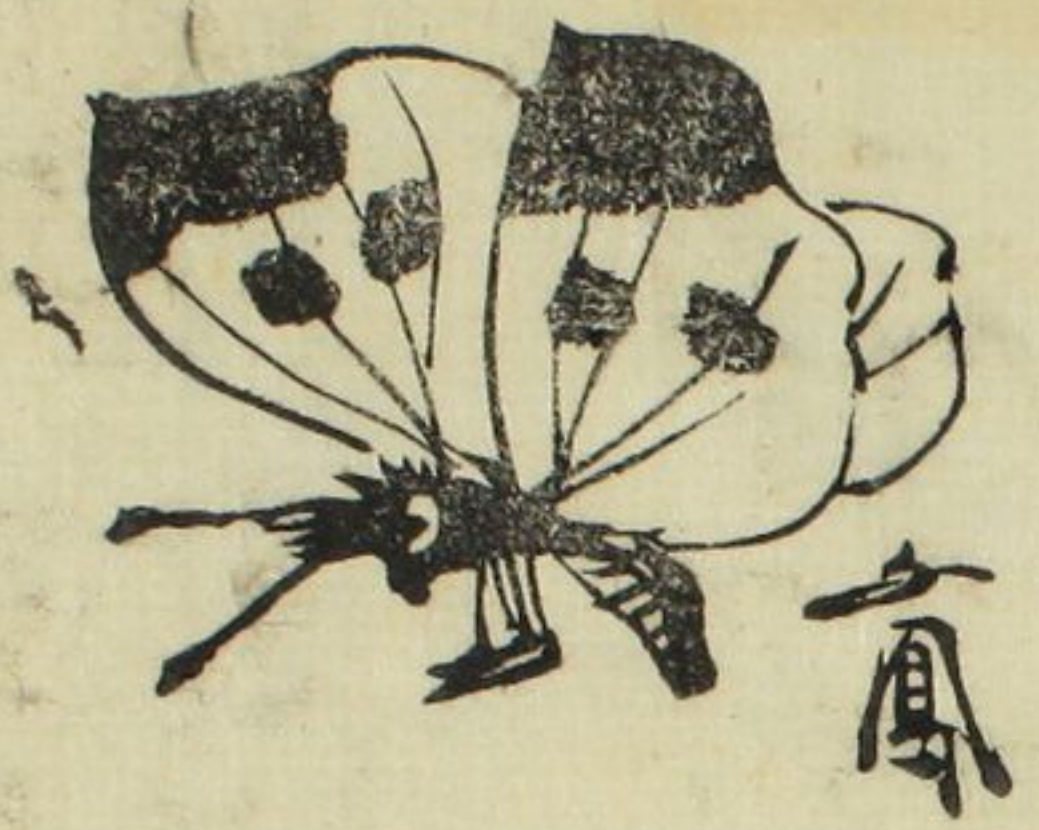
江戸
工子川
芦水

九
九
高

船本屋の軒とる里暮し
ぬこの戀
ヒラカ 筠川

あまもやふ傳しつる長
凡乃安けりせり
カタ 素園月

一厨の形も母と曰母方之
出さるゝるのさ



長余るる

日ハ
し

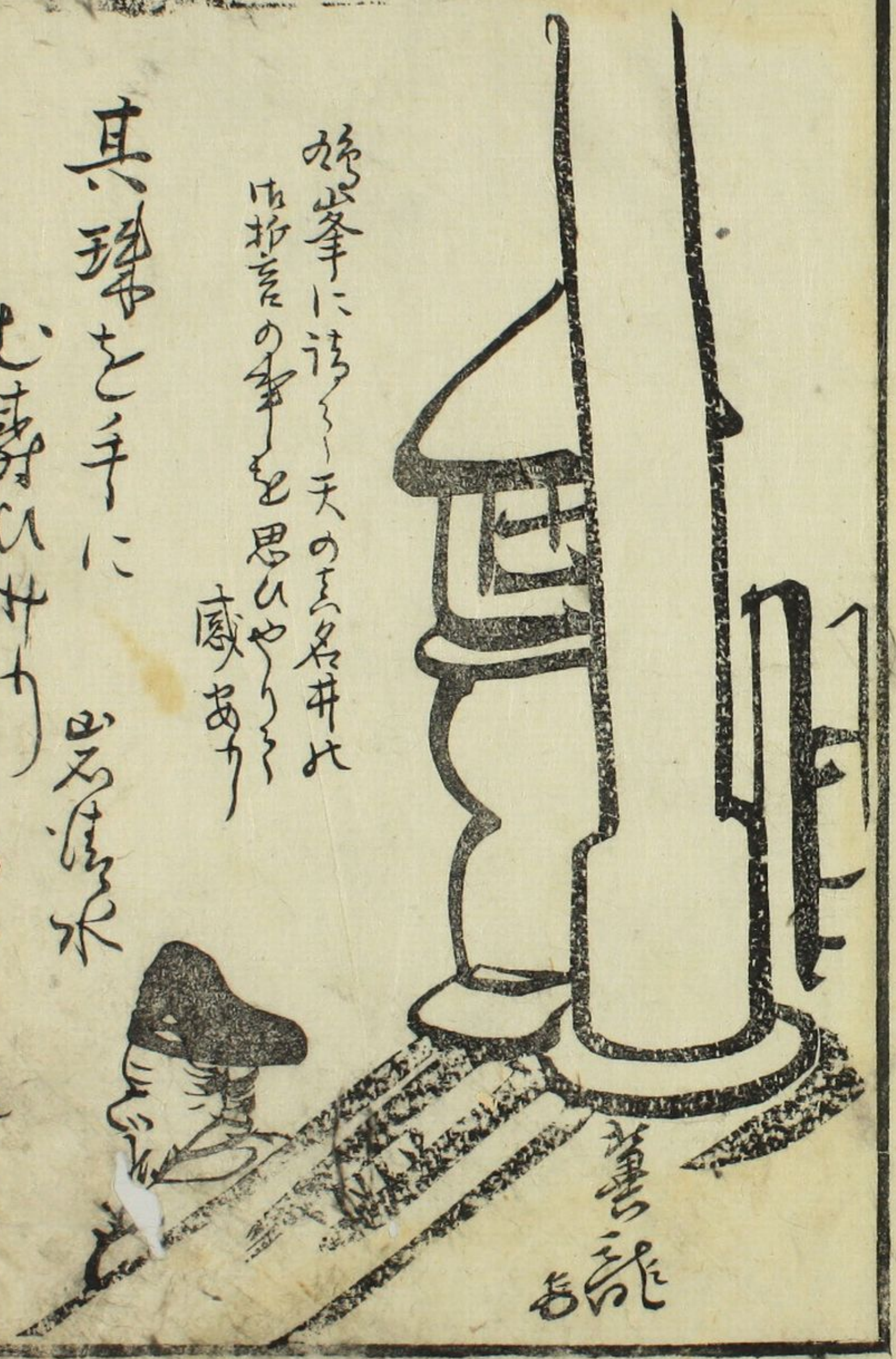
あま

母カメ山
子鳥

黒塚くろつか 咲さき 鳥とり
伏水 挑ひき 翠すゐ

抜ひ 荒ら 丸ま 集あ 子こ 守ま の 塔た や 妖ま の 風かぜ
伏水 鬼おに 丸ま

去い 此こ 啼な く 都みやこ 夕ゆふ 三み 文ぶん 鳥とり



峰みね 手に 持も 天あま の 玉たま 名な 井い 此こ
 由よし 指さ 言ことば の 事こと を 思おも ひ や り
 感か 有あ り

其その 珠たま を 手て に 山やま 名な 流なが 水みづ
 心こころ 持も 対たい ひ 廿に 十じゅう

御ご 系けい さ 此こ 此こ
 空くう こ 詩し

去冬かゝ雨少ゆ
交野
秋水

少多しと巖巖如
松月
おとろすすさか

河原へんぬふりして
舟不任へり
ちと子

春坡

涼しきや

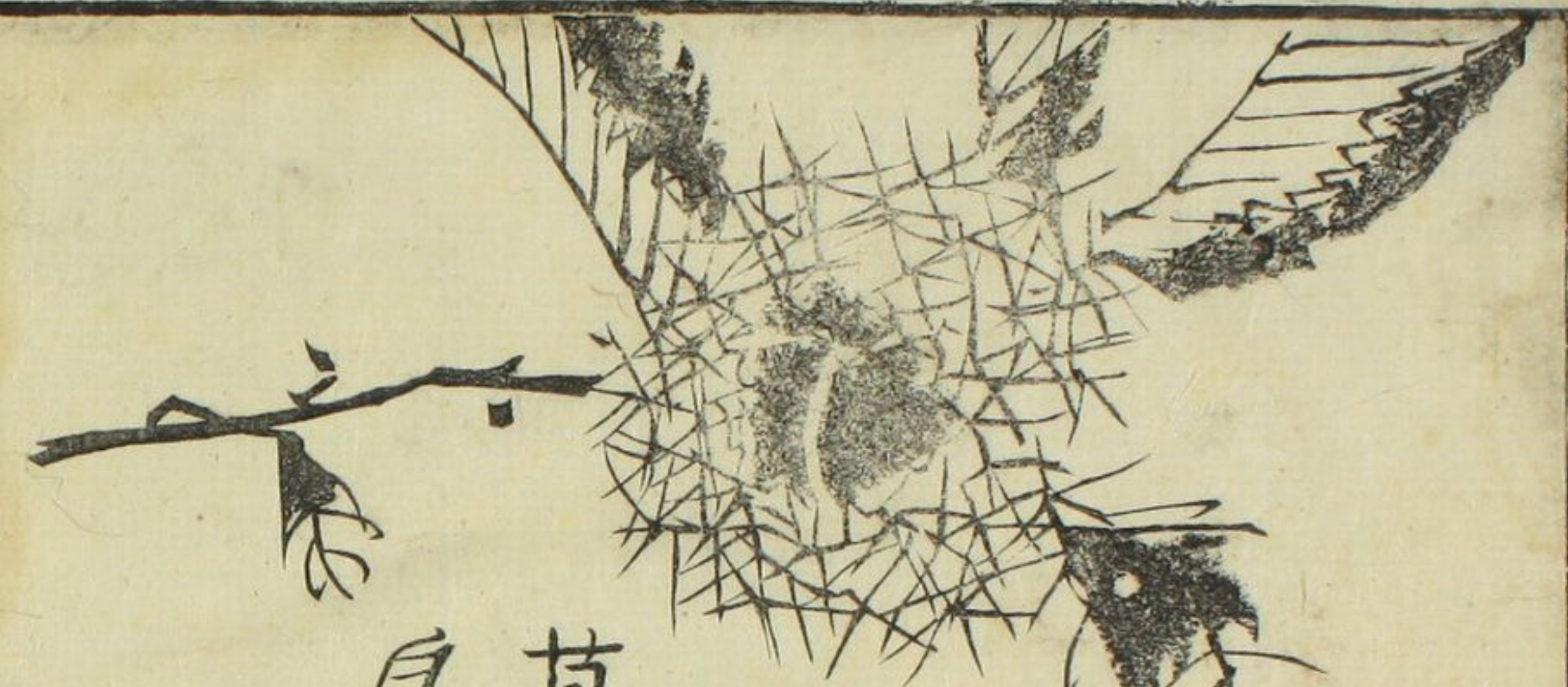
清水や

うす

亀の甲



橘公頃而



木吹怒日毛落るる栗乃
乙とた宛 市泉

背戸の小草に
見ゆ糸の露露

暮北秋空あつく 哥蝶

馬の啼はきき

案也

傷冷々

志々々

系乃

44

上

東君乃
菊英



廣成圖

春風中花散

浪花散暑

雲乃ちら夜



ゆくさ地り花の

女花散

果つり除るのこ

寒食乃空ハ

翠杏館

燧乾る臈月



月に出て

月不満

小女

内水

春耕



豊考

木屐町やしろま木の
買結ま那葵 冬保る

暮しりのまの帯々 鷹視
まのまおしり

布味は奥ゆき道也 楚歩
楚まきくのそ花さこのり



稲まお

組る古布

月耕

三竹買山藏



芋のまお

お新

おのり
り

梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき

梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき

梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき

梅溪雨

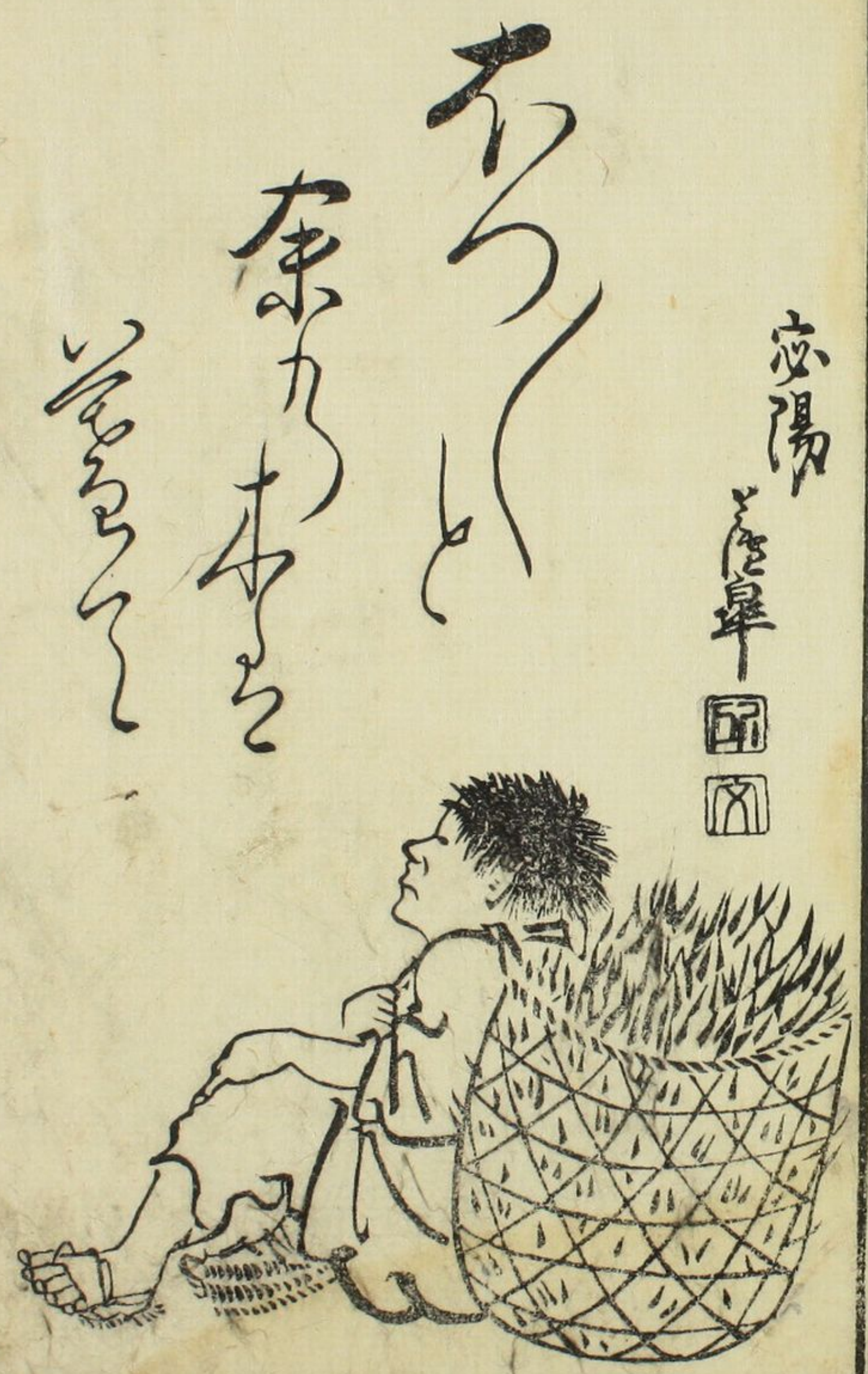


梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき
梅の雨のちかぢき

暮のさ人あゝ
 物あを年の
 ちいさなこころ

山水のちいさ
 小口や遠ころ
 全竹雄

わらわの
 伏身をうか
 くらりかきうきさるる 巴人



あら
 束力り
 心へるおと
 路因

左原收陣

長竹貫山藏

必陽

彦昇

山伏里古や古休古々古耕
ち古の古自古を古と古京古ん

猶古を古向古ひ古扇古を古比古

中古と古歩古と古々古祭古

物古耕古

中古の古よ古月古子古 孝古所古
此古と古事古 控古へ古り古

袖古中古帯古 蘇古比古の古色古此古の古市古馬古



鳥古集古々古

此古と古事古也古

但古馬古古古市古

風古耕古

臈古月古

石原五郎

吳竹買山藏

大橋

音

魂

班

り新石橋と
山産品の記
青梁

生ると
代々豊

吳竹
香葉休

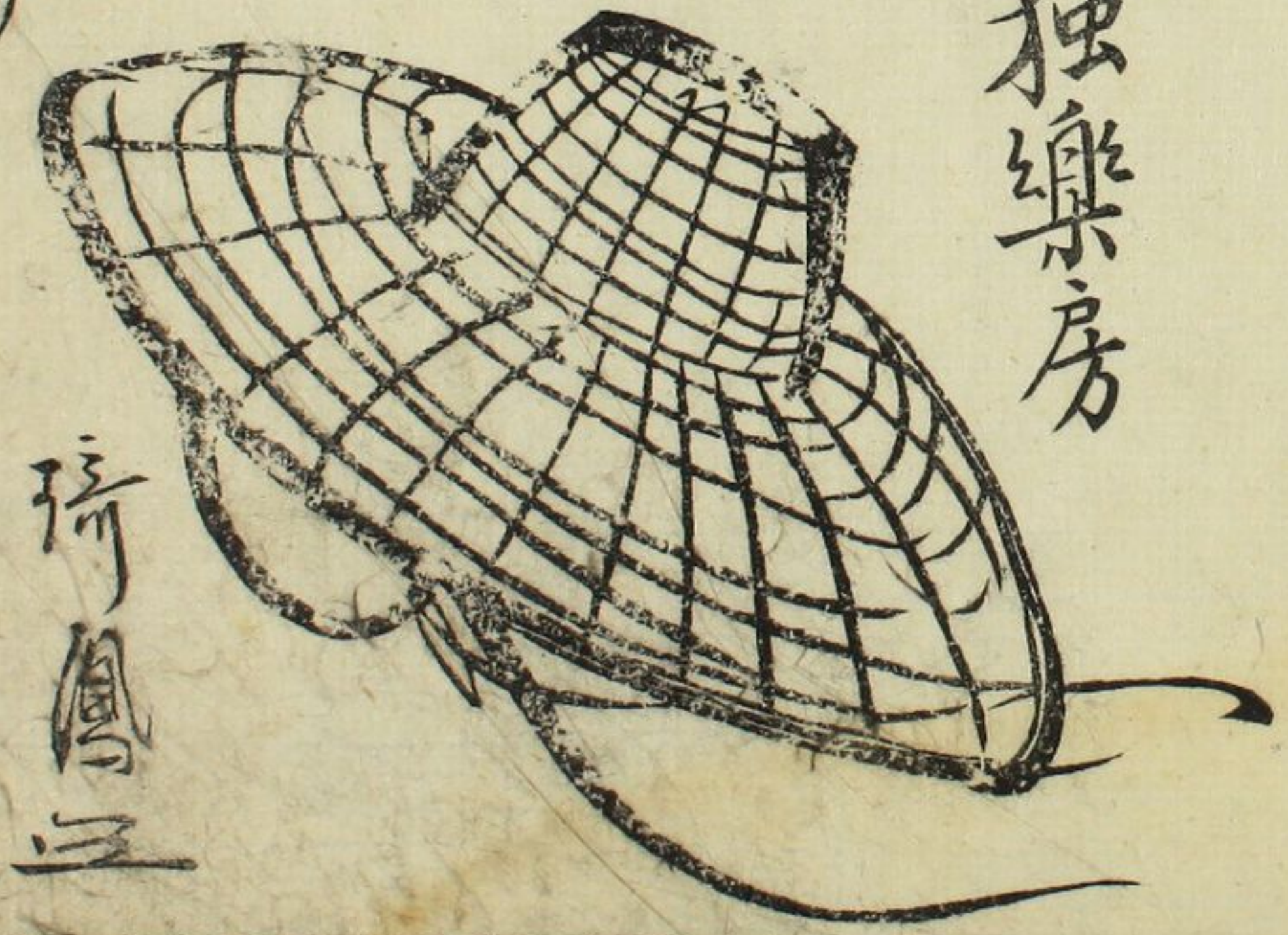
伏見独樂房

九十九

き
なれ

笠乃紐

結
ひ



瑤鳳

正原大車

吳竹買山藏

在原文屋

三山

心空
おもしろし
つゆ
あはれ

むし
帆のたゆ
鳥傳
冬の日

人
あつ
つゆ
雪



人の心

つゆ

あつ

つゆ

あつ

文鳴

三

三

荷葉舟 茄子はゆふ
くまのり

甘三

くはるや
相のくはるの儘

沼速
松真

峰多乃白ふすりぬ
毒花

寄鳳

重厚の対
一章が述

飯
進

中

愛



交尾写

沼花拾宜

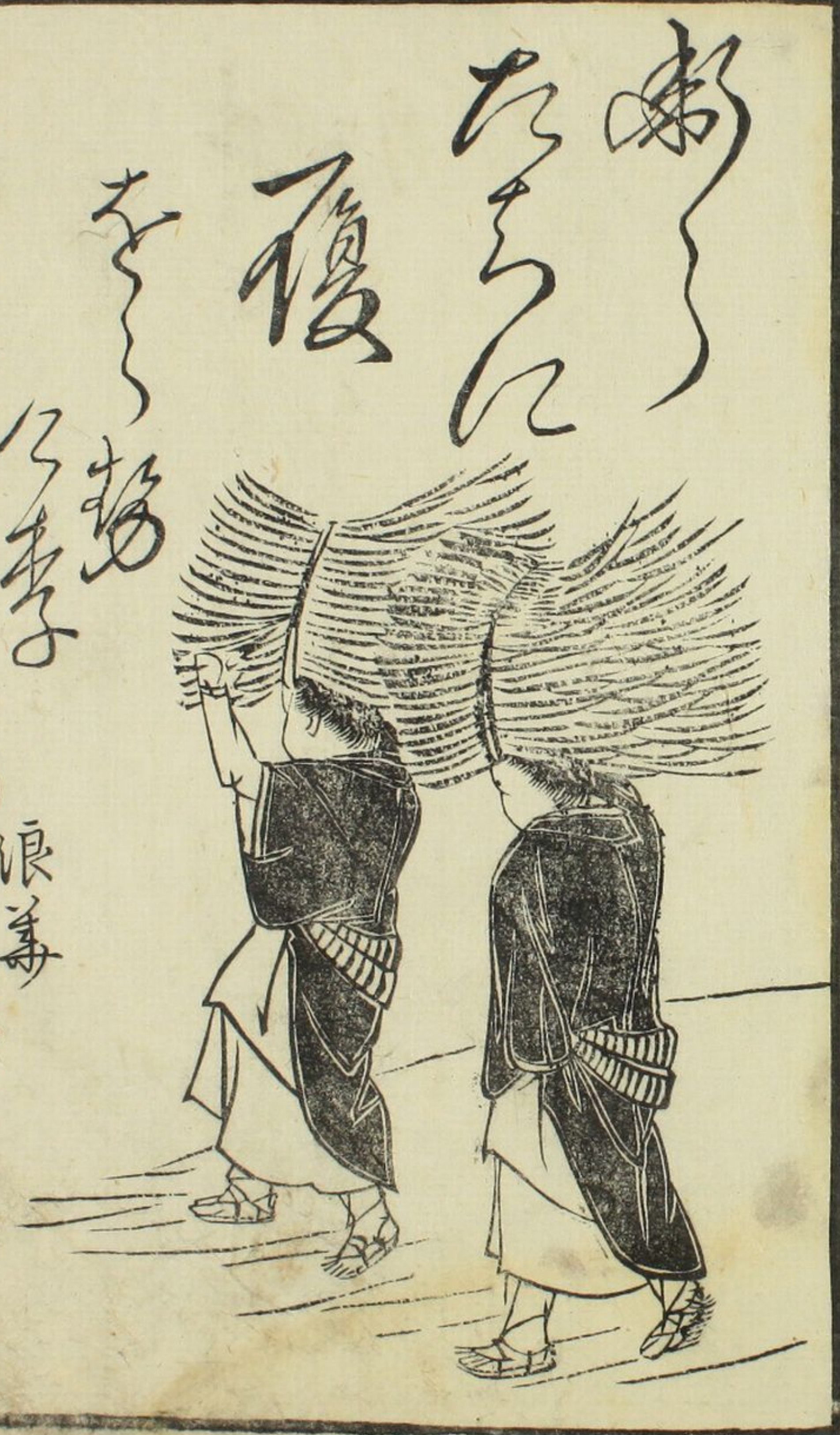
石原文庫

三竹園山藏

まをうさや 合せ
なく 陸
浪義
文風

井の上 日
碇ひ多らり 花の舞
星花

そはまよふや
雪まはし 柏子とらり 日
哥園



あ
た
ら
ん
復

を
な
ま
な
子
浪義
快堂
一
梅
香

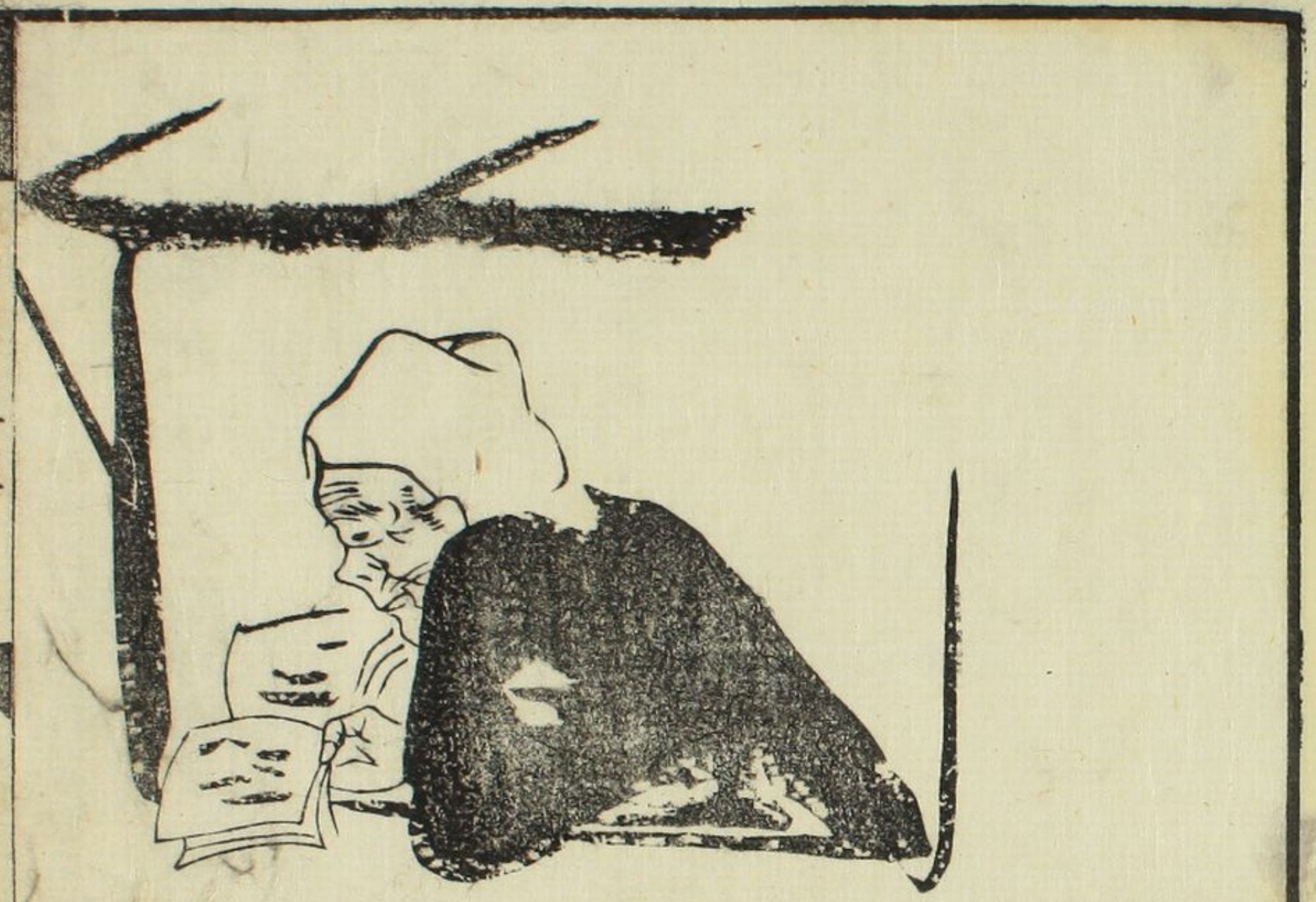
三原文庫

三竹園山藏

花名種
 了々々々々々
 曆名
 浪毒
 業業之

巖より菊は足居日也
 乃庵浪花緩吹

沙汰也
 乃子
 浪必
 都山



今井
 柳家

い
 木
 日
 田
 極

豊
 五
 園
 園

在房之屋

三竹真山

關伽棚をとお乃の果をわ

まの久花 東を居士

船のり 秋の舟

蛤けや 春耕

水にともる 藤より 茂島頂の
糸ぬちを子小母の存

蛸年あつても

あつても

あつても

いも



三原水庫

三竹真山

後不乃... 富雅井... 此... 之... 之...

後付... 二... 乃... 毒...

... 山... 秋... 乃...

子... 雪... 安陽 鬼格... 大鋼... 子... 乃...

高心秋をさくしん
 治
 龍皇

高心秋をさくしん
 治
 龍皇

鹿乃音ハ 庭乃
 照為ふ
 来雄



高心秋をさくしん
 治
 龍皇

夜の月滝子 鳥頂人
むふそまたるる理

心 記
ふふふ 月

玉りのあ 伏見
一 乃 花 一 楽

湖南 梅高



白の葉
人子
柳園 青は洞

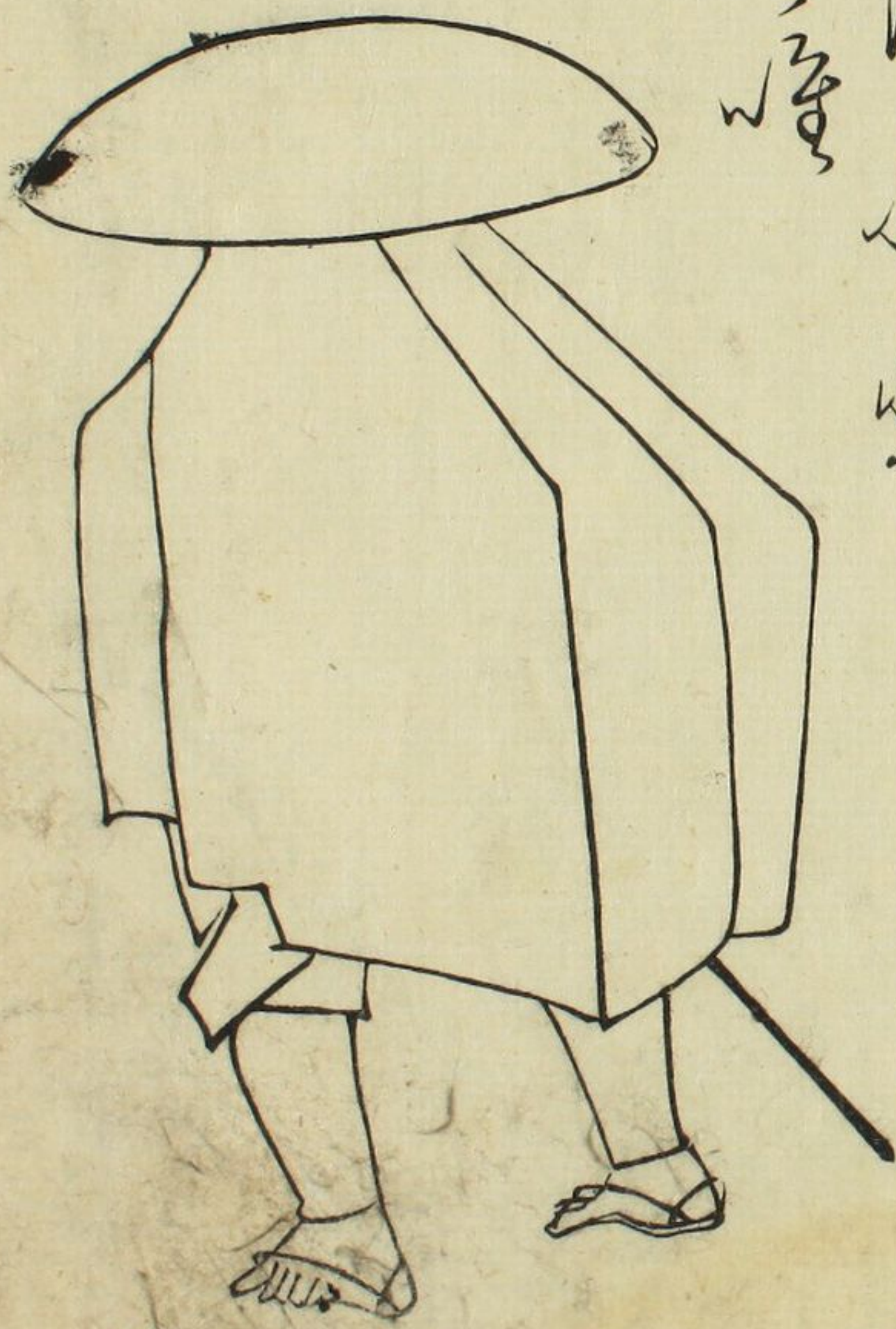
在
何
處

三
山
痛

あう娘世々礎を
信品
まよふ

六月を
松の風
暮之

小車此よりか
哥蝶



孫
人
海
雨
草
草
自
画

三
原
大
車

三
山
痛

名の月むかひの海へ古井好山

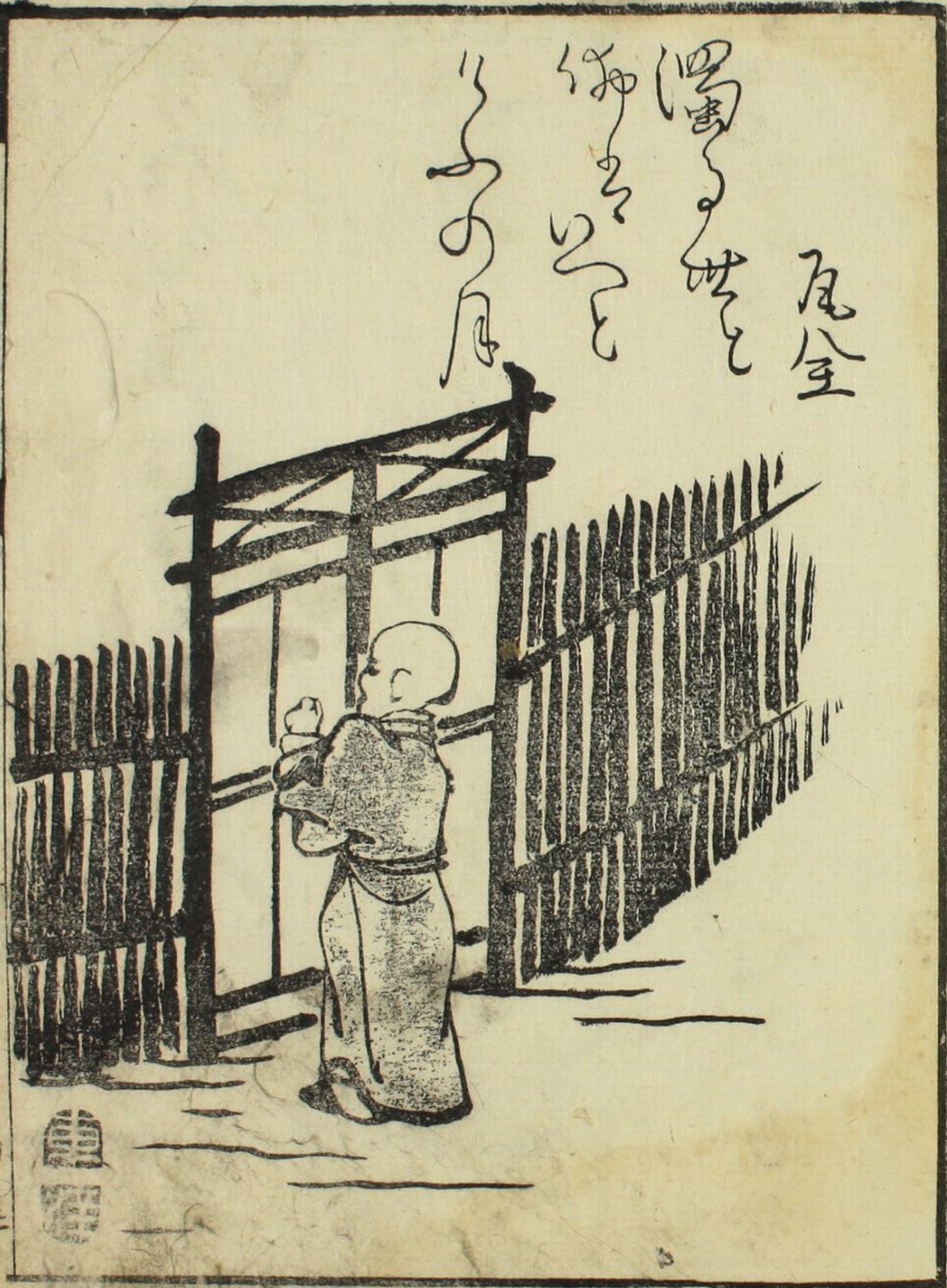
揚府所
家

いふ竹氣をたぎきて栗乃甘味

木籬

あふささの便せり、江野ふち

註



瓦全

酒の世

海を

いふの月

溪山路多し木の葉は
笛やあそびの風
寄蝶

長安雨高起涼風千里月光望石窮
遙聽數家砧杵管色々流得滿塔中
伏水 圓誓

肌寒
樹を
松乃風
加友



在原文原

兵作異山

くま乃月一
ちよあひり
馬

るも木小種よきそ
彼岸に
龍山
伏水

浅あつ家ほと
阿波
悟
此はさるるの所

ふんくわ

くわんくわ

くわんくわ

くわん



くわん

くわん

くわん

河豚をく未練のままを念佛が伏水楚尺

松竹撃月松玲瓏玉七詠冬鳥衣守
只存底相柔涼勝海性轉身在
唐詩と云 六五々枝上歌

夕日さく鳥乃古巢や冬樹立
風耕

邦齋写
[Seal]
[Seal]



おし合々
程静へさくの赤伏水
[Seal]

勳叙吾露浄陶範冒蒙

香何必待重九始为巨

澄觴

公川墨也



雅儀子孫子如題を採りたを志免

るまをくち如かゝるは思ふなりと先をさ

し一也等事ささくふそい候のさつらさ

子如實り山々生原又原とあんと在

免ん事ささくあし一ハ一なるのふ

のふ心のかつらりよりハ一も若事な天

二母目のさしつた後さ事をさるる女

在原文庫

在原文庫

除旦

瑞鳳

出くはるる雲誘じん丸

秋ありハ麻白 神雲蓬 許来

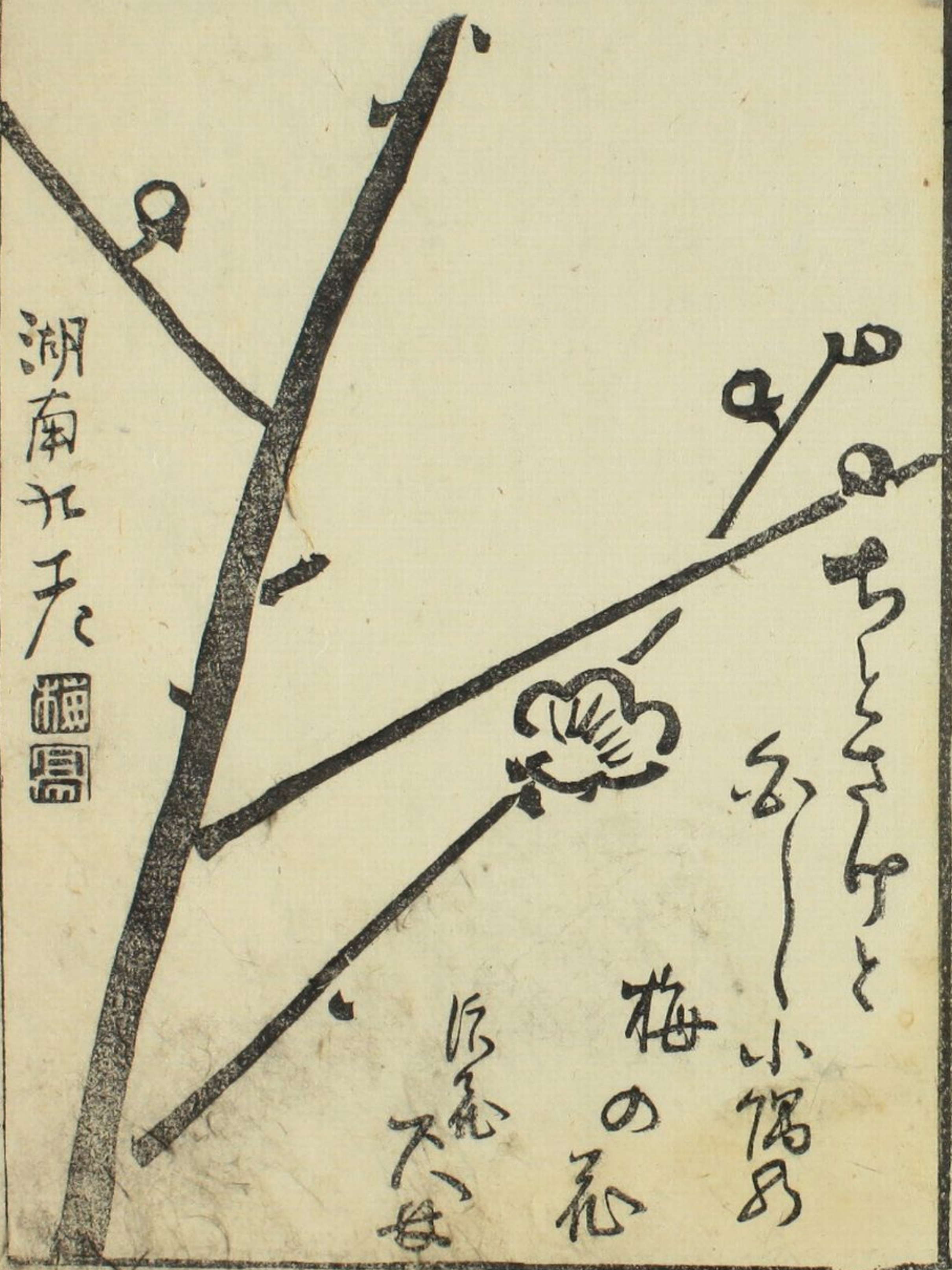
啼く鳥う 龍丹梅外

是程より思心 扇晁

うささき 神様

梅の月々も

心公是く次 三四坊



うささき

小幡

梅の花

心公

湖南九天 福富

在原文庫

在原文庫

汲あます萩此命や拮揮 寄鳳

陽をよこしひりきり 祠冠

孝の瑞の如

三月の暮る

閑居る

其

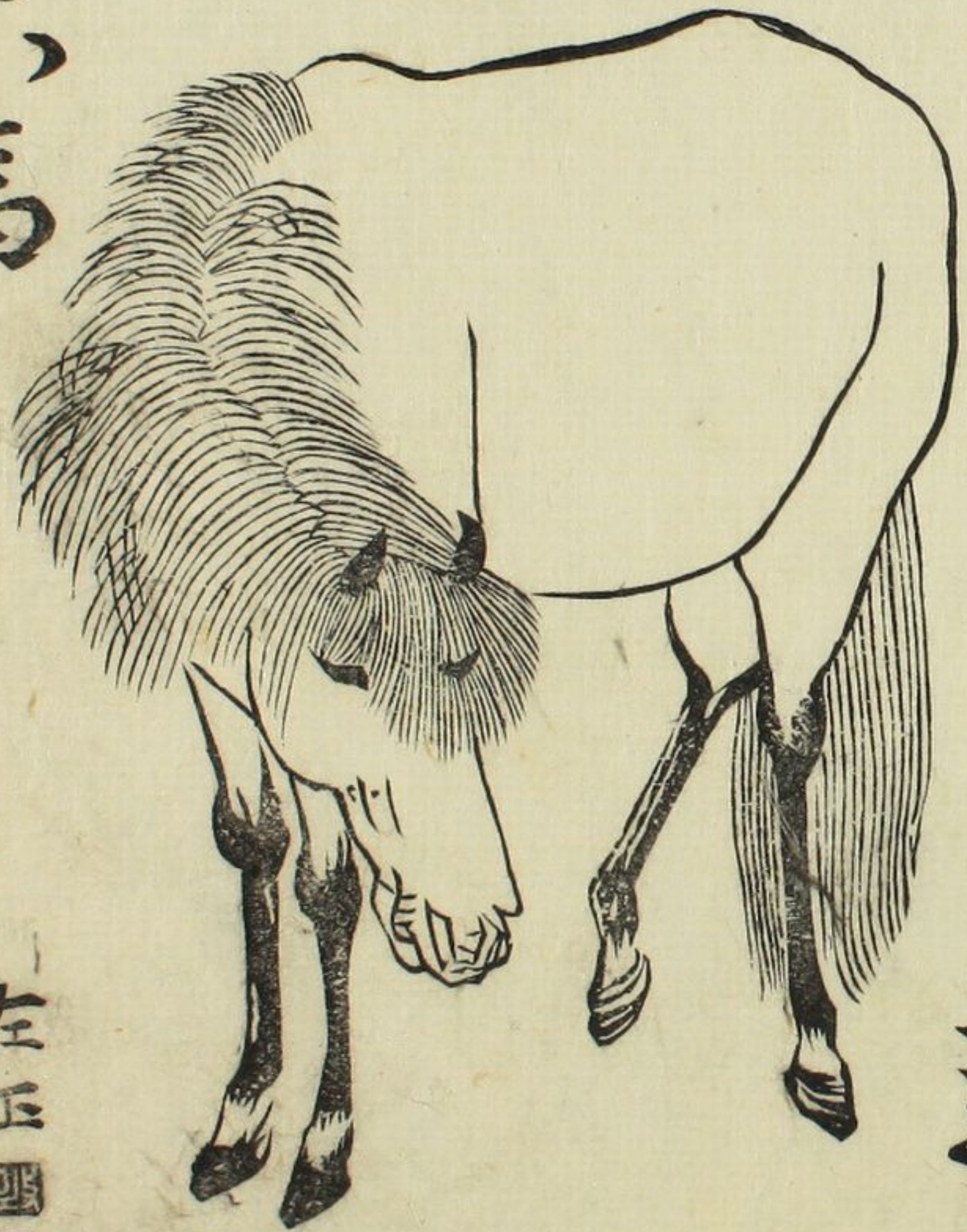
難東

糸乃

糸乃

走

あまの馬



左正四

うき世の人をきくはとてめり
カハ子と因具
りう 普客

秋山にいつか
老のむねをまじふ

おのきふ
たうり
ありん
いん

公順和



却會
啼也
空を獲乃
かろく
伏見
一樂

遊をう

松のしほのあつと
子生るれ
席文

汗極水梅

地を極すおるる
浪義
馬肝

壺乃かろく日和や葛麦の花
狸友
深草

夏の花南窓法蓮

華一絶く美なり
十二堂島
歩く齋
百堂



梅亭号

磯寺やさし波寄心ゆふ梅
但馬古市
風耕

加茂川の音をき
洛葉舎
其別
蟬の声し

酒の氣ふ狂ふ遊女や梅の毒
三木



孝成園

臘月や

誰

ちりり

梅の花

浪心

五彩堂

口上乃々々々使や蘇子の花

信州

葦笠

夜更乃小柄見在し母扇の折
破笠

新羅を結ぶるのれをるはるる心山其笑

唐梅富



大鼓止了

城下静小

露時雨

交蝶



不...

吳...

眼乃... 程... 嵐山
志... 芳野山

名... 見... 渡舟 谷蝶

蝶... 馬行... 春艸舎
飛... 哉



宋也
啼... 此
... 此

在原文庫

吳...

夕影也
長江の舟
来江和

七の
日南
蝶の蝶
新蝶

山をたづねて
しげふみ川
やま



飄齋
印

フシ
一寸
斑霞

梅溪



涼しき
なほさき
山田
文頂

初少

場多兒姿と大

浪花
百堂

けし物

河内かき古光

荷解さしとあはれ

有よふさふた

さき

二たりの
筆の字

本居

長門

あつたの〜の〜
信上田
寺海

夏なつの月
熊くま小こ階かゝととしし堂だう

ひまふち 狼ろうくくうう志し カカ八ハ千チ後ゴ林リン
ままふふららちちううりり 馬ウマ羊ヤウ

大だい撞つ身み ちよんあまの
ほほ月げつ志し毛もう おの
ちちのの人ひと氷こおり汗あせああの
信上田
如毛

在願怒雨



石原文庫

吳竹園山藏

色うら

鹿乃妻

身も臆き

多蝶

恙心 此別不

春水

延了は日南哉

春風や梅の成盛を告歩行

河 加 友

京都濱御梅の徳主

拜雪庵 田四画

夫

さ

く

そ

まの



三原文庫

吳竹園山藏

在厚之厚

三三乃改のあゆみの
しんくよふひひるる
然白

肩角力極る川
流るる
拉琴

比ふ事
只かへ波は
三教上

高浪の
風耕
但馬市

群を
記也
儀の鳥



稗鳳

在厚之厚

稗鳳

本行山成

本行山成

白分一
素向

力
全

か
全



本行山成

本行山成

右

山

陸奥 伏水 巴十

村 川の末

上 橋 橋

角



見 左

平安 孝成 圖

左

山

松原文庫

削紙のりまきり
浪七
廿日

なれ七待り人の日
一景

松やしの葉乃ちいし
あましの行末うね
河州佐太
巴山



子鳥
流

あまの
あまの

文鳴
昌

落性全

三原文章

三原文章

蘇物之類
其類之在石

うみみ
蘇物之類
増積り
一透

蘇物之類
其類之在石



浪蒼石齋画



周情也二月月
新子
若竹成申する

三三子の小菖枝
交の風
一鳥
山はかり

海西
まのり
柳原

華山

華山老好

湖心也

葉花也

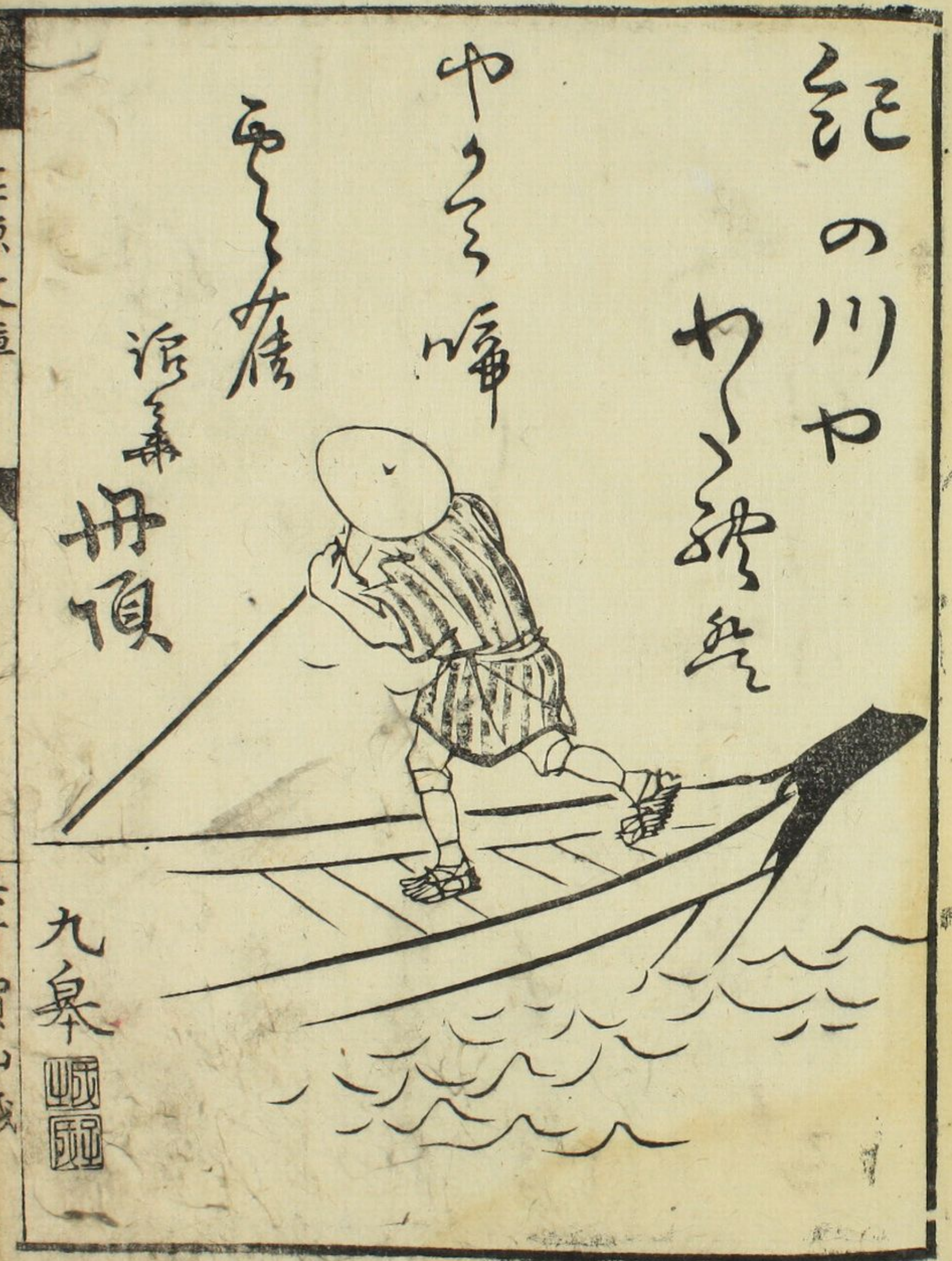


浪華
松羽

燒
 火
 舟
 浪
 景

一
 日
 舟
 行

人
 舟
 行
 舟
 行



記の川カ

舟の行

舟の行

舟の行

舟の行

九泉

石原文庫

三社 買山 瀨

佐保 躰子 总の 卯
薩加 中 泉

之 物 子 係 子
洛 杉 用
疎 八 乃 子 乃 乃

相 之 成 竹 子 乃 乃 乃 乃 乃



伝 也
雲 水

乃 乃

流 了

け さ ハ

青 柳 乃

良 達 角

三 原 文 庫

三 社 買 山 瀨

ひそかにあはれ

是れ世に名をたす

加友

第本此ありとて

ふくむるを

谷蝶

志をくく他郷に

歸ふはる我も誘ふよ群焚

鯉丈

永蒼堂

揮毫

竹

心く

筆

浪花堂嶋

不



美

喜柳や水もも
うらさる春は風
荊明

葛葉

蒼野黄昏雨三春欲盡時鳴蛙聲
偏若似惜韶光移
摘葉
山俊逸



花と矢の手もかり世川也
そ燧式
像逸母
何い



具休道人
石果也

唱もあゝく 穀子極ふか
田舎 二弄

掛物や花あはる里の
瑠璃

森に産らるる
後よまし言の敷 車

宇治見山

のほりそ 金兜

榎溪町

寺の雲うきうき

よりのうき

ままかよひ



桜咲く竹と柳

つれづれ 錦園

在原文庫

三行 眞山 藏

土河 花亦 叶 逢 一 日 暫 有 來
おまひ くら

む ぬ くの 園 あり こと 不
多 水 深 中 采 古 多 五 園

鉢 乃 々 凡 句 論 其 川
流 亦 七 死 々 々 心

揮 甫 寫



寒 葉 々

十一

三 力 心

流 世 乃 旭

夕 日 心



在原文庫

眞竹 眞山 藏

山こ山こ抱の丸の
寐の半の々の鳥の此の為の
江戸八三
雲水

青鷺の火やこ々の
りの為の此の明の
春坡

引の海の山の
々の々の々の々の
春峰



山の山の

乃の

下の々の

々の

々の

長竹買山藏

沼橋仙



土原八重

白然字毛

誦や
 毛しり
 誦の
 布
 対
 か
 の
 毛
 多

蓮の
 毛
 一
 波
 毛
 毛
 中
 の
 毛
 毛
 毛

毛

福
 毛

毛
 毛
 毛
 毛
 毛
 毛
 毛

全

毛
 毛
 毛
 毛
 毛
 毛
 毛

全

土原八重

土原八重

在原文庫

水鳥乃多
あそひ
りり
一聲
河内中

糸のりらる
山々の暮らり
とららるる
備笠岡亀峰

松少をいさ
あそび
あそび
あそび



甘泉

意きし
あそび
あそび
あそび

松海
考

甲甲甲

在原文庫

六行買山蔵

兵衛買山蔵

在厚文庫

吳竹 買山 瘡

湯よりや素肌 靨をひくハ洩 加友

令る手に名をいふ

茶葉茶の苗 布勇改布村

西月 闇り ちう如 茶葉茶

あつ ちう如 茶葉茶

高のけい
賊あり
乃山

伏水あり

春耕

春耕



在厚文庫

吳竹 買山 瘡

在原文庫

其行異山

花

咲けりて春を告ぐも
あはれはあまのこころ

右三野崎阜 緑亭

白

はくはる 相もろす
さるは白のあまのこころ

同 舞亭

雪

あまのこころは
さるは雪を告ぐも

同 八町

伏見

眠虎



古稀

又十四

花の春

善

在原文庫

其行異山

在厚文庫

具作買山并

ちる子風り余り百し
いなり
美和

旅く出々
花枝加那
イナリ
鷺子

大菊江
酒と小菊ハ
温古危
魚行



山中

一の龍

伏見土井氏

一口

十三歳喜岳馬

三原文庫

具作買山并

石原文庫

豆初算山藏

泥中此蓮とも 筑川

見やせ植たとも

湖中物降しとて母 橋 蕪波

多真深文 葉櫻子 武 春峰

草水戸ふ

任心

海

埋の

花さるゝ

身是 若るより 依あり 魯山



善 齋 印

石原文庫

豆初算山藏

深眉撰る夜あみのしとや
飛ゆるむしし 草草ぬ

夜雨響響寒林蕭颯谷風烈那
識窓前山朝来渾化雪 躑躅

春の卯よむの月くさき
群しと流

洛 和由

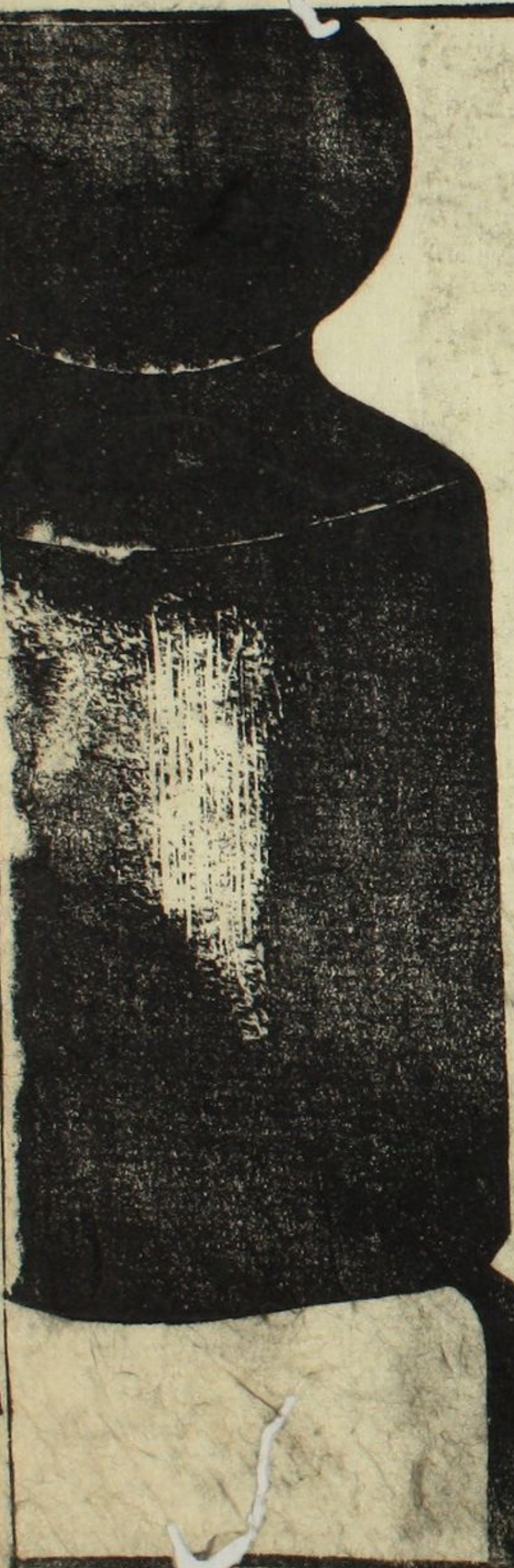
か茂りや

洛 若菜

夾の水

三糸やまぐら

南岳乃



和由

和由

在原文庫

三作 買山 辨

春るの

後子鶏卵の

洛 菘菹風

うしき

活る鯛る門の

空里

雪はよの年ウレ
つげはらや 日



五庫也



か
さ
あ
お
に
荷風

在原文庫

三作 買山 辨

時くや
 聖といろくまの毒一三
 止

一力歳や 捨垣の
 茶后れ何き備 鬼薊
 氷室堂

る紙のつるえん
 ぶらよとて
 かにと
 二つを



自画賛
 御系存お
 子角
 喝堂

上原上人章

吳竹買山藏

河川雨地々思ふ程に降り素来

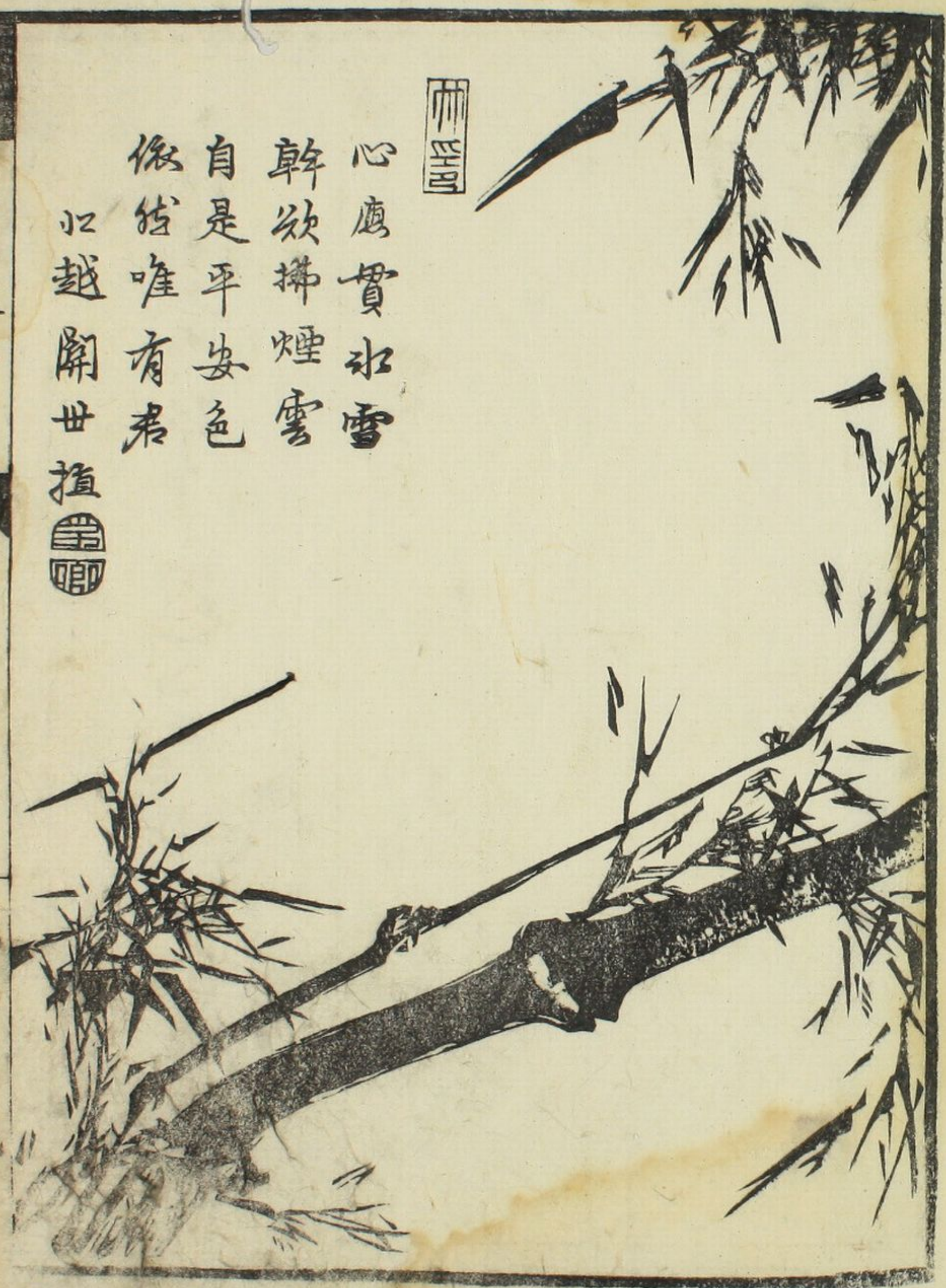
清下

一多りやみおりの多乃
春嬌

本より止むや
曙 仁保の海

江島八三

常子色



心應貫氷雪
幹欲拂煙雲
自是平安色
依然唯有君

以越 關世 植



三原文庫

石川文庫

三原文庫

海老の如く一海老の如く
入国して海老の如く
海老の如く海老の如く

夕張の
夕張の夕張の夕張の
夕張の夕張の夕張の

魚豊

夕張の夕張の夕張の

一母

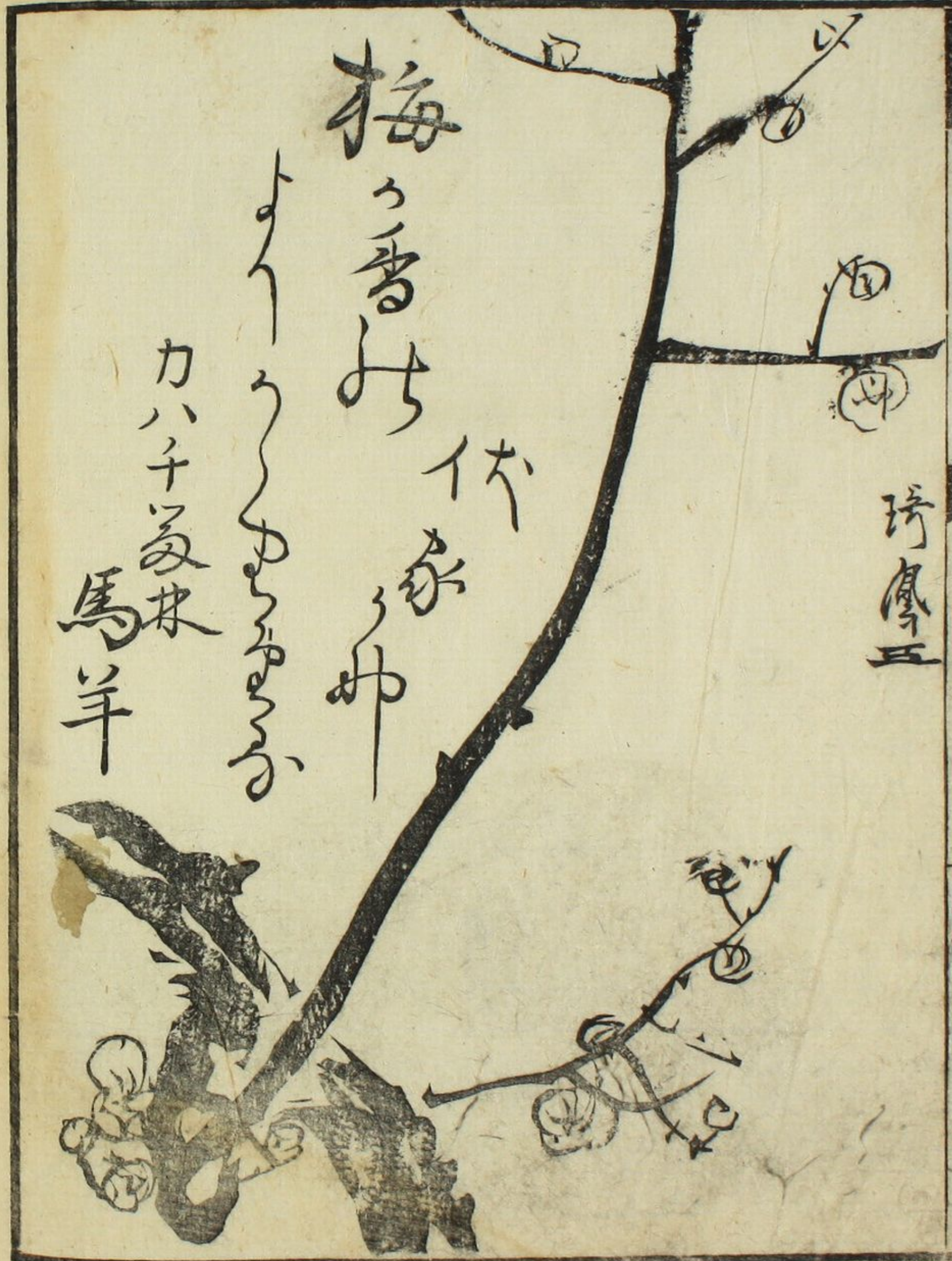


素嵐守

海老の如く
夕張の
夕張の
夕張の

善哉

瑤鳳五



梅

香

伏

家

ようう〜わらわら

カハ子

馬羊

方

ま

鹿

危

双



夕新し 秋の山
 カハ子 馬リニ
 羊

り秋鹿 木水 七多色 小田輝

初め初乃 浅の山と 浅の
 馬の 戸口 町集の



遣りあふ

うけり 心や幼 拾

活名 甘三

宗永 章
 東 隱

右三野岐草

旅

旅人よき初能をたつめを
まねくあしはち和路の旅 三野

右三野岐草 三野軒

軍

しよふさよふさよふさよふさ
こよふさよふさよふさよふさ 休

同 月六日

旅

あめをあやむるよふさよふさの
人の年よふさよふさよふさ 神

同 百曲亭

小竹の葉

良む

万々

定まる

花



日有哉

所鳳

在原文庫

長竹山藏



神樂洗ふ
水は西よ

水は西

蒲



雲は鳥
常体先家
國相寺



出言有佳
人可心配
君子

神一す月十日昔持山をうちをうめくけ
晴くあ〜〜ぬ〜おひ〜〜

あ〜〜〜や〜持山お〜お〜御

と〜〜〜〜〜
道の程五七丁もわ〜〜と急〜〜
もあ〜人〜〜もあ〜のぬ〜
〜〜〜の〜〜もあ〜〜
〜山〜の〜〜〜

吾妻ふ〜〜は〜〜
〜〜月乃事〜〜
河〜〜山持山の一軸は見侍〜

元日や四睡乃夢もや〜の〜

家信

神樂

春も漸日あらん成ぬおしひさし人のついでをさあせ
て暮らふはちし系の世願いさあせは願をさあせ
星はきこきこぬのゆゑとて

みねあうらうはさあ乃ちかきこぬ

ぬ月のは王子福あう信事あめ梅の盛りのけいれそ
あふきさのゆゑと山を思ひせうちあもる程う松竹

梅雪月花と松のひつとあふ事あうて

松の雪林のゆゑと乃梅を思く

けふ乃吾事あはれ自ら月あう

程の事もあうもさうと云換はる海日記もやん

村野園 重光

買山の御借おきさうと何のをさう
白きとを帯て冊よあ海も毎あう
やうきやれをよあは草研をうら
て人すのやあはりも一客乃ん
ありらうし此はすこ其はあひ
けいめあさうとさうの思ひあす
越のかさうと海こそ無あはあ
在系文庫よの御借おきさう
あはれく文雅乃場う信事あう
あうらあ六の買山を其さうの書はく

高梅高星池



買山蔵

山中堂 屋へかゝ其を堂に置く
山乃皆中をいぬ遠く花湖下

時をさるや
山乃皆中をいぬ遠く花湖下
いぬ遠く花湖下

早稲舟や
七日と二月
の口内四市
榎七

梅溪寫



春雨や二度

ねんねん

豆腐賣
哥蝶

海を渡る信天翁といふ鳥あり其の
 七丈屹然として遊鳥の如く其の
 今昔を又漫書画といふ鳥あり其の
 ありて其の鳥を捕して飽す
 世路を去りて計鳥の如く其の
 在原を陣ある鳥の如く其の
 信天翁の如く其の鳥の如く其の
 乃如く其の鳥の如く其の鳥の如く
 直知其の鳥の如く其の鳥の如く

生生瑞馬



生生瑞馬



在知五屋


三行買山

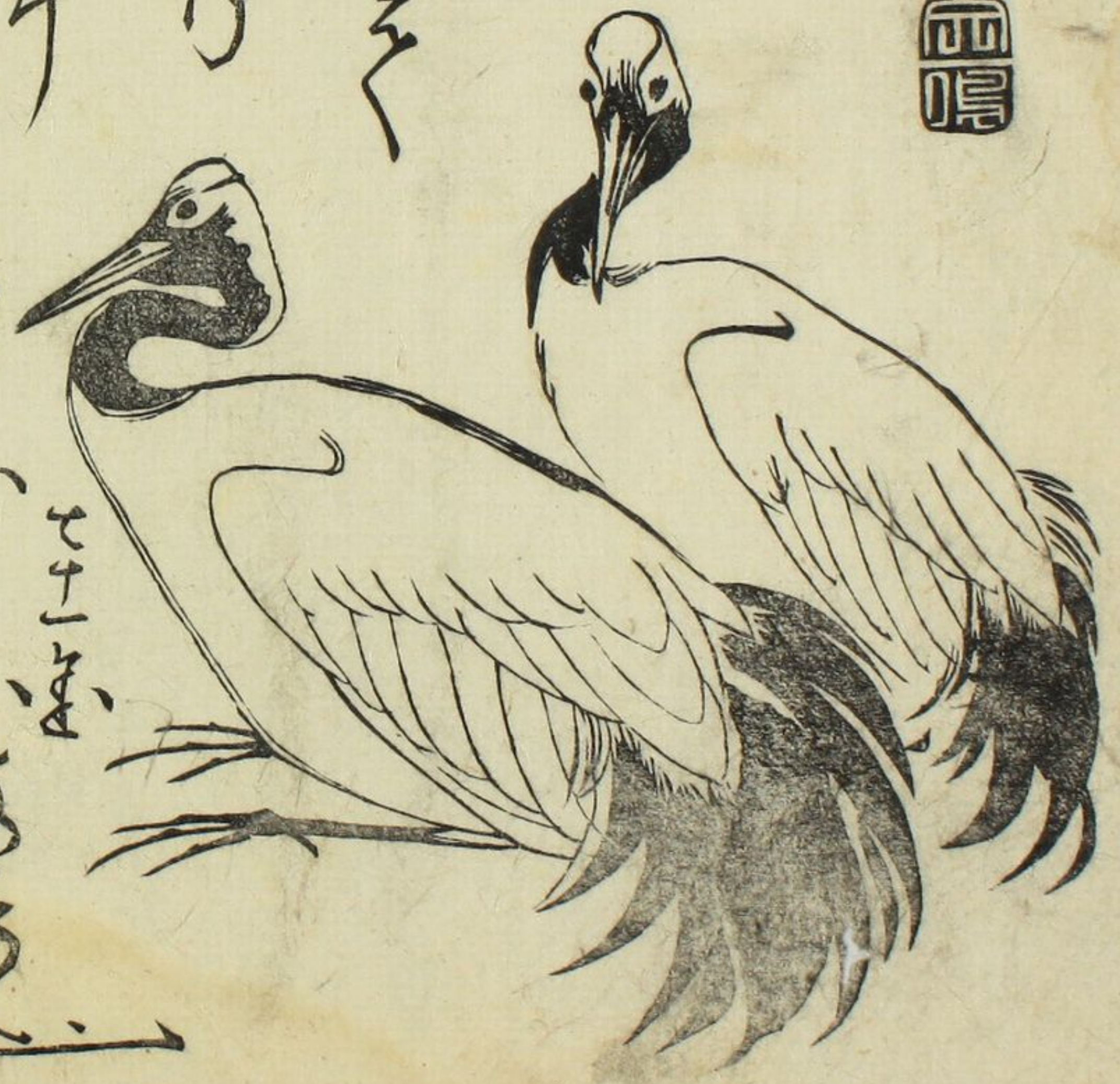
文鳴 

鶺鴒 

お桐月

んんん

のせん 



土佐守光字お



百草一のたて

くくく

株南魚羽
魯口夏
龜河



無名

六行買山

斗々々々々々々々々々々々
樹々々々々々々々々々々々
伏々一箇

青空乃蒼々々々々々
深竹
希双
拊々々々
拊々々々

見々々々々々々々々々々々
祥々々々々々々々々々々々
鬼凡

初々々々々々々々々々々々
か々々々々々々々々々々々

南島



寶菜小

日乃さく馬甲

菊糸菴

やいこ女

廣間靜

菊糸菴

霞潮

福不遠固



高き虫

文鳴
印

十から

好く

えん

秋の海を

かき



在原文庫

在原文庫

蛤上翁とありしとある菜ぶ若路尾

あちりしは
河内白田林
菅原江
之しと物引しはありて

指ありし古のなをしし
雪日此柳の如
布村

海嶺高直直

うきと地を踏山農屋と

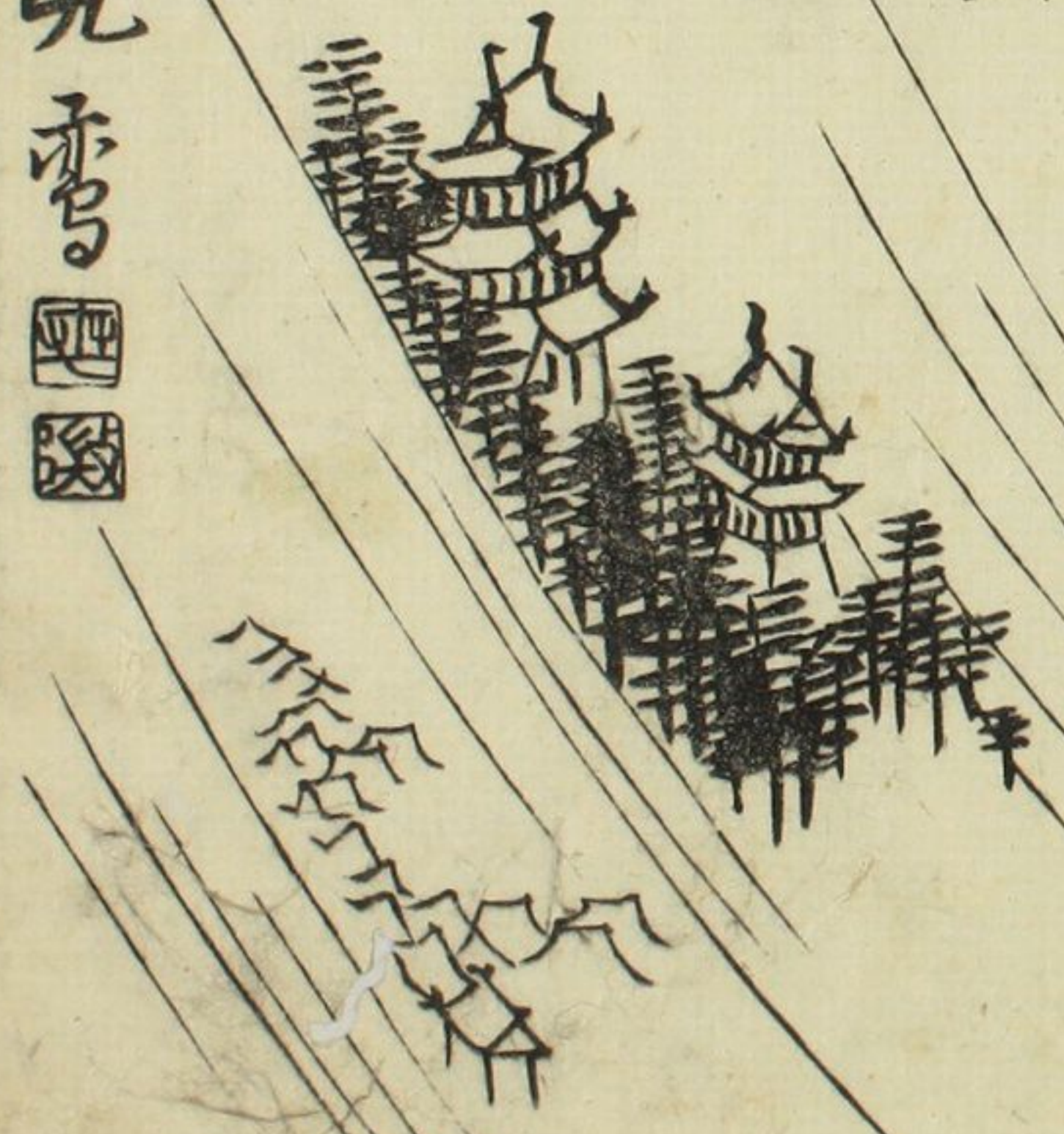
中雨のちまひ

せし雨のちまひ

持らよとるこま

振者雨

九香
四
四



人乃田中 郭と見たり
枯野魚 如洋
依中笠岡

ちちちさあき瓦て
りけらう那 橋天川
音と

坂下雨 尺八の舟の茶屋のあひ路平
我足ととととあひや海ろく買山

春峯 圖 嶺



門涼と

座しふい書紙

つれづれつみ

土のまじりきり
ほろりまき
東都朝歌
由岐季

東都朝歌
人の集り朝歌

曰 藤列

草うらや
きりまきり
まきり



壬戌仲冬字

白雲山 圖四

秋の蟬

月

あきまき

あきまき

伏鳥

無一

冬き〜と変ぬ 欠局
枯野のわらわら 無一

冬き月よははらりしを花うらふ中坊

三ノ岐南

あま〜まき〜も
赤きハ神乃紅葉ノ那 又鳥

タニハカメ山

山鳥島

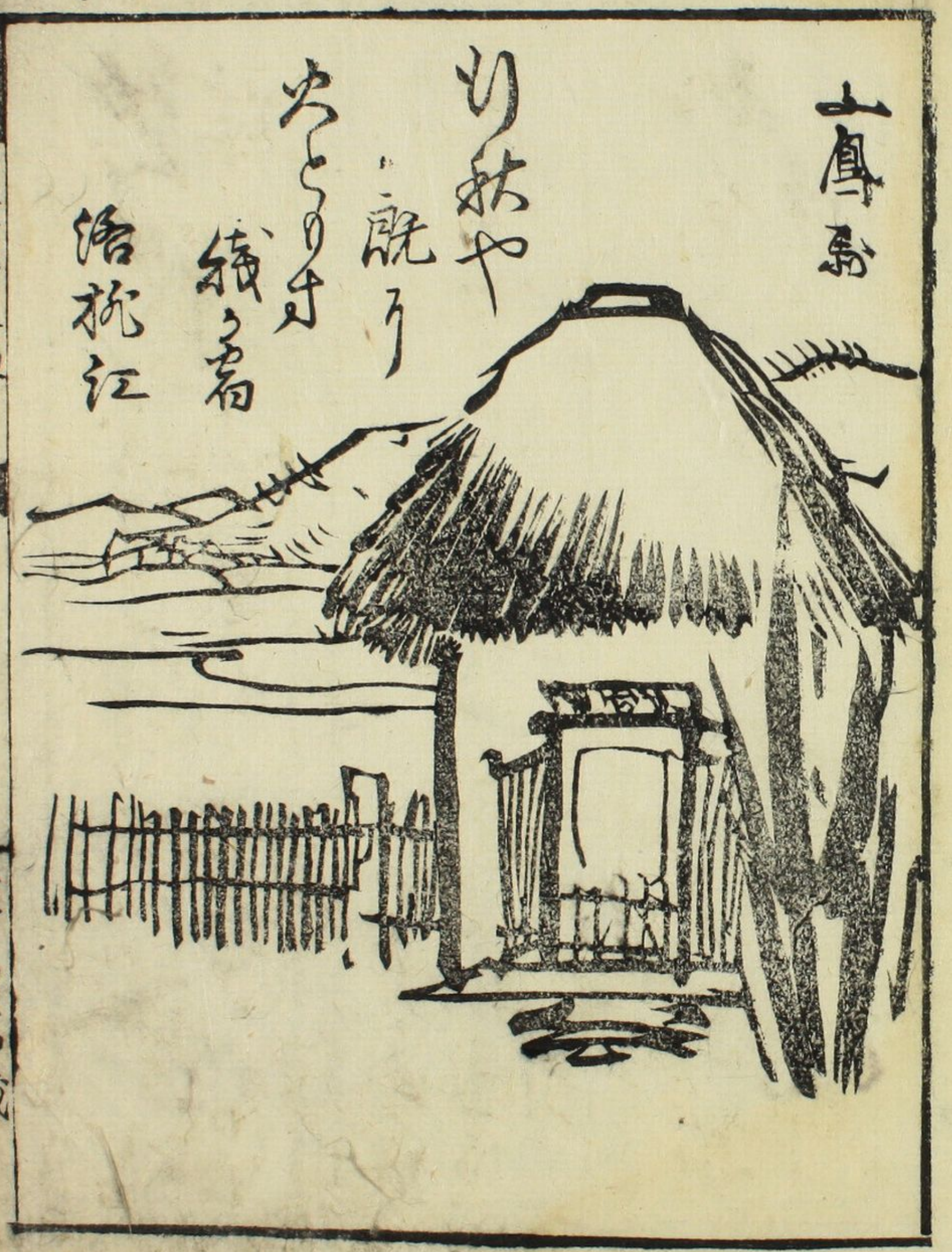
り秋や

既り

火のりす

續之者

洛枕江



在原文庫

山鳥島



帝
 止知んん
 とんん、根あり
 かんこふ
 伏水
 把菊

朱印

本草文庫

長竹買山蔵

新月也
 京まき
 心徒氣
 古乃

村島た
 道下
 傳門の
 保和
 王

稻の
 つく
 架り
 門涼
 風耕

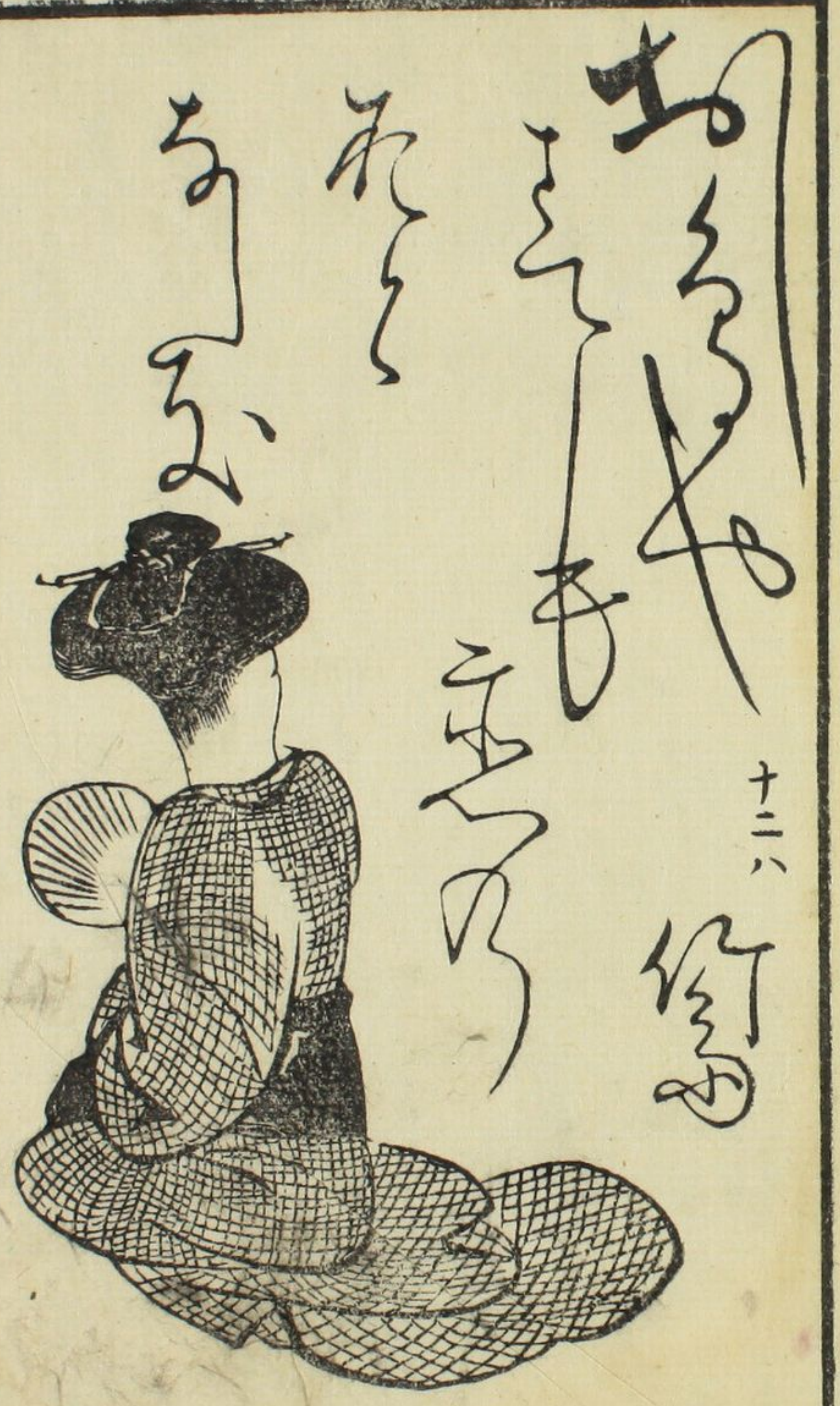
本草文庫

長竹買山蔵

傘よこて詠 カ字 椿葉
 ふつこの時面哉 名地地

春の心や蝶も 日
 似せぬ花をたふ 如雷

雪けりし花も 日
 花乃よしの心 夏柳



月瑠一むの
 人乃ゆまは 物修臣蔵

鐵をうすて蓋ふ花をくす
伏あり
急所

梯散ふを

城南之世

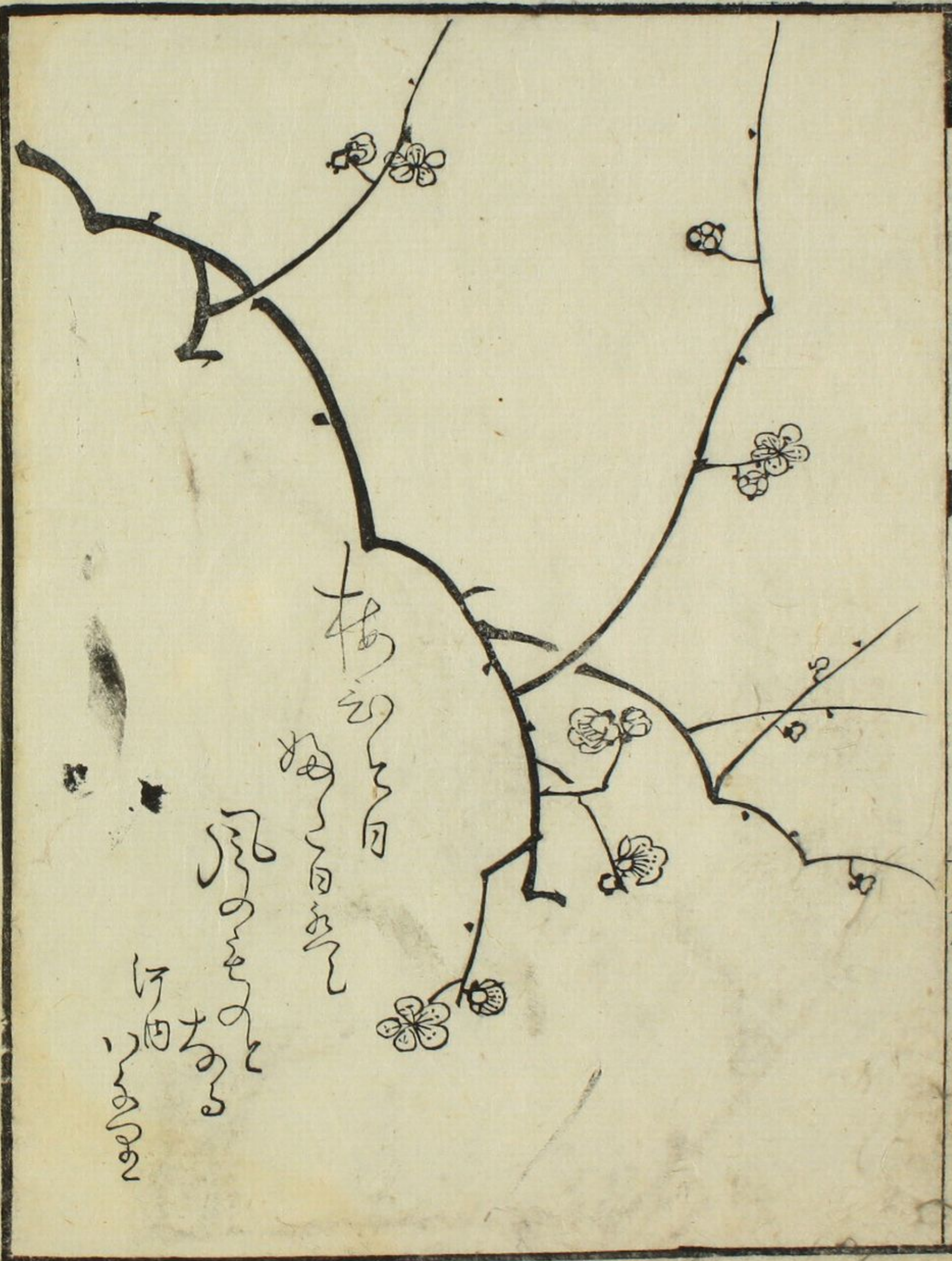
見哉此何じし
山化方

洗く雪を真筋筋の
尾の一帯
伏水二棚



谷蝶
拵し棄れを
邪磨か雪
こゝろ

梅溪
の



梅の花
 好む白
 風のそよ
 けり
 ちる



さうほ
 下
 法り
 あ
 三

方
 毎
 日
 看



在源文庫

風乃

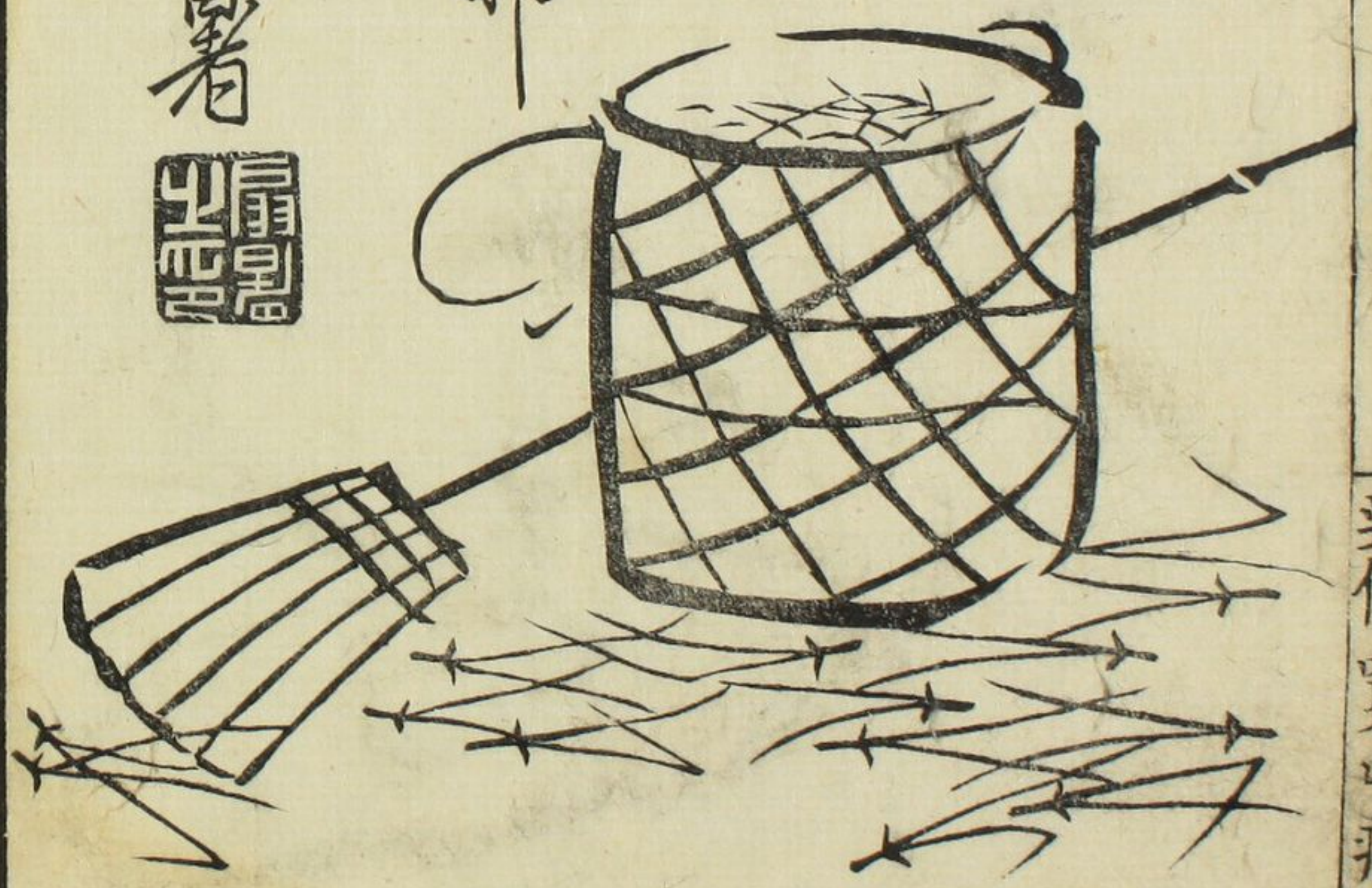
あまを

せきさる

心より

可那

浪花の家暑



三作 山田

東都

囊袋黄白上林自看

泥城

中

海

嶺

虫の蠅



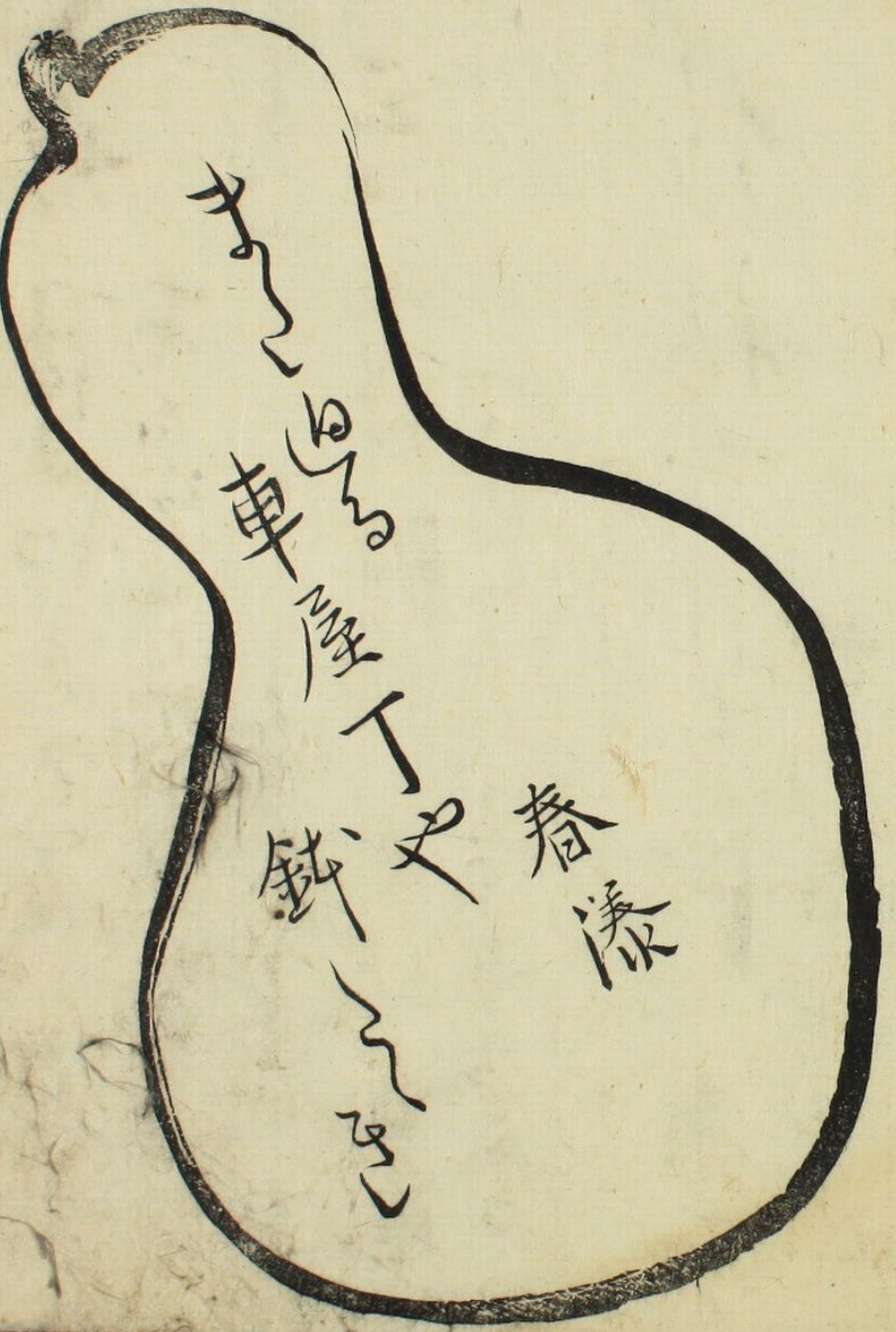
在源文庫

三作 山田

新有身やとさうの月葉
あそこらる乃ち

三日の月離れ
すーアとこり乃ち

新穂や川木也
ちろふ神の山 糖石



春 漾

まへはるの車
針

梅溪丙

山所凡

水

山

山

是月

河内古市

三木程



素絢
素絢

伏水

谷蝶

親と子の

こらり
合心

田垣





煤谷の

煤谷の

これいさな余る六日やまら職 谷蝶

あかりの 豆 宿内屋 とよ部 綿滑る 子のおり哉

涼いさなやまら 動く林の月 竹里 伏水

石谷

石谷

山を望むにありて
梅の香ありて
月ありて
雪ありて

梅の香ありて
月ありて
雪ありて

梅の香ありて
月ありて
雪ありて



梅の香ありて
夜を定むる
山ありて

富田林
浦六

左正四圖

竹外尋常
鳴竹の聲

燈不讀書數夜久萬端心緒轉相
難止看將本空憶昔青雲感往年
高取吉川茂周

守
海
抄



瑞鳳五

在舟
月お

云次

菴の
籠

依水
千柳

人のこころ
 計のこころ
 美男待

夕暮乃
 尾花
 林京

玄川や
 裸馬
 伏ん
 卜天

東都 囊菴 順房

明もや海へ
 空つふも月斗



井中坊
 老拙自画

柳之し涼しき
月之し其屋
涼
美

宗之乃涼しき可也子親哥也
拾遺

朝朝方也家津紀
付付三伏水産



古柳乃涼しき
無様其屋
交り多

石ノ子
錦車

宗之乃涼しき可也子親哥也

くさなぐさ

ふしなぐさ

ついで

もよおさくとも

女
海

引うれつ

九月下旬
其扇

はくろくと
秋の末

在原怨所



姨捨る月見小親と頁中砂子

信上田

十海の海もえ
心が柔ら子可如
筆末

用古知様少似あひ
筆末



梅さ
い
又

上
吉
四
三

石形くま

多き月 弟に 辰尻

東朝囊菴明

しつろく 下の川

忽ちの 今

籬に霞ら子と共くふり秋乃幌 千戸

内の日

四五尺

の

竹の

ヨト

場

立巢



有底乃月之
來之氣かははあり
湖南
井子

言多也
常法也
透額
雲旋

胡樂
二月哉
口巢

伏水道人
香菓舟

溪標

雲北

掉亮

享味土成冬
寫在魚怒



此本此の
一もことしれし
也
状可
笑斬
楚尺

秋来也
獨り
一才坊
班霞


白
春峯



花のまゝに
あはれよつとまをり
和のうたかた
丸

あゝ世の
新乃常也
ほれ候
鬼丸

湖の面ハ黒き月夜哉
兵庫
秋湖

法橋中和


佐太二番
里鯨
涅槃會
揚ちうきし
猫乃顔



梅れ連ハ

はあきん

か

夏の

中



河内権弁

曲江空三目志



文鳴画



月影と隙り
咲しき

るまきり

河内空三目志



ハ月の 雲の 停り 鳥の 鳴き
ハ子の

あらしの 日暮の
見し ハ梅の
南六

風乃日暮の 川の 白く
眠る 水の 鳴き 邦の



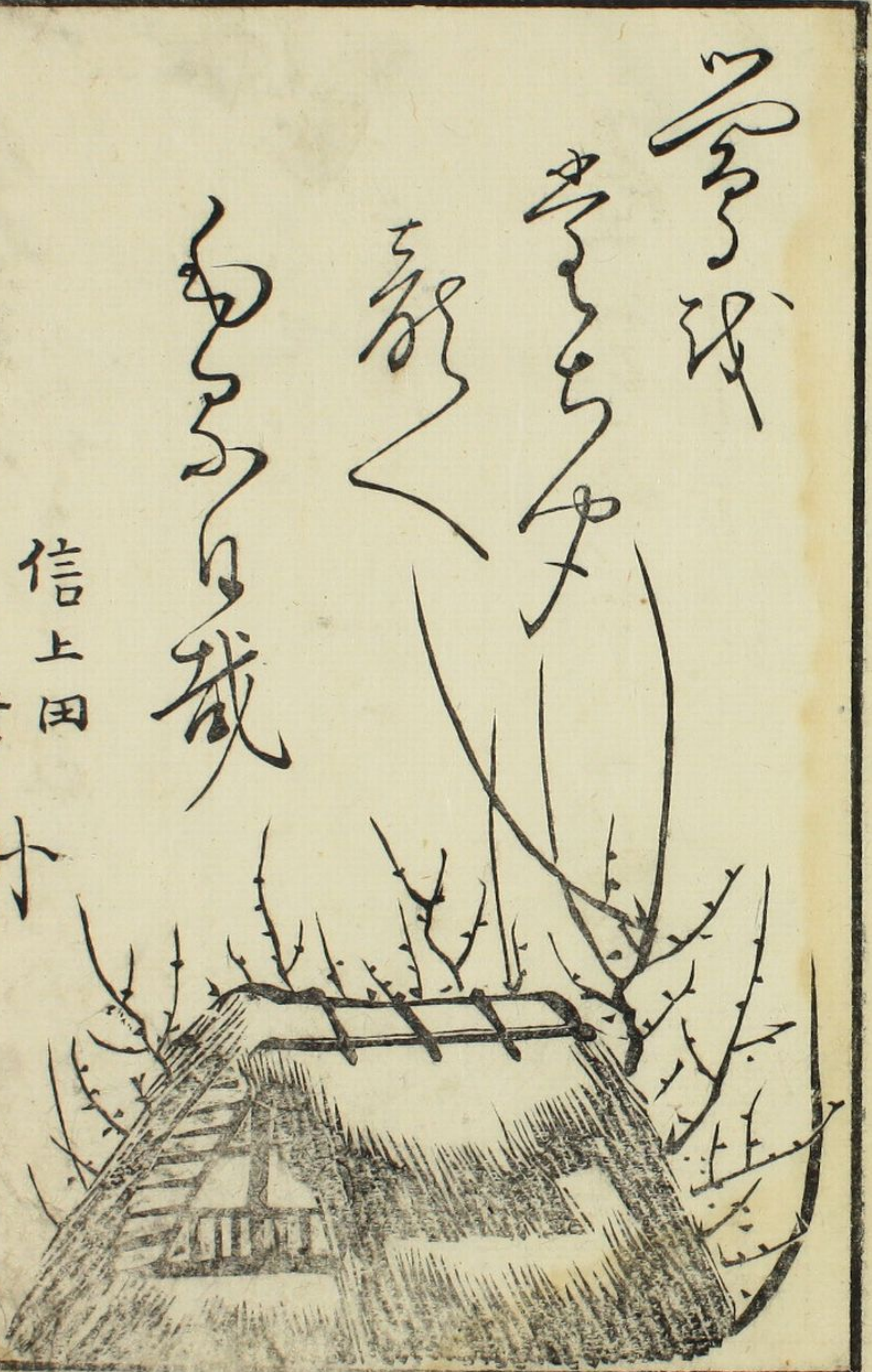
あらし
の
ひさし
の
鐘の 鳴き

井六

夕暮をくくると
吹やうくくると
馬の人

火とせけ
急ぐ入りき
蝶の蝶日
君平

夜虫をくくると
くくると
くくると
くくると



夕暮

吹やう

くくると

くくると

信上田

芳洲

仙良

子親婦帯記 上田 やまね
寸さの おまゝりたり

わびしきやゆきの
宕のクムきね 推す之

文衣 及むぐり 河内 フリシ
牡丹いろ日く 馬羊



松河巻

神の衣の巻ふあつた
鳴天屋川舟とけりたり

短束の巻

おけりたり

福やあそび



あそび

信上田 湖月
座より花けハ
印しその巻も何事

何の事の世に心懸かきまほしうか
世徳

月哉

歌し一気ある浦に
日と利やまはるる

明あき
古川

夜以あき

り
まはる外



柳屋

颯の梢へ
まよふ花 落をふか
春坡

消風如毛
しるし 春の夜
流 杉内

空 鴉う 冬 好月
狐 吃 赤色 當 崎子



雪 重
雪 重

物 多 也

しるし

しるし
まよふ

有 邦

鶴の鳴かすこと
あふりれ
法
 有邦
蘇の穴

の初原尾上の跡を我世が全

己う新よきと
しう
 月の原
 全



行
 五

名月かひとの
 年ある志智の松
大ツ驥道
 天家朝の松の親之
 吉賀の松

普
 一庫
 草

細徑也 露如大白
日 暮 出

低雨樓
其韵

高位不如露 富麗猶白雲
翁采 患 驟折積德待明君 伏水千元

流 重 矣 元

靜 心 事 古

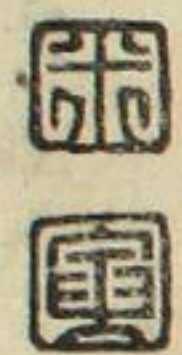
湖 东 雜 詩

柳 之 歌

空江氣朗 天宮我無壽德
寂然幸不 隻帆影省來
裏谷神全

伏 驪

挑 立 併 題



弘輝也
集之も
車里函

桃花岸上落竹畔極繁堤遙種雪飛
十里春江吹波靜釣舟遙向遠汀停
春江鮎眺
荆山

倚何處
洛士英
也

是也
伏
常
高
陸

用多れぬ
か
う
淋
り



白雲乃出心也
山溪水
瑞雪

黃昏迎友坐茅杆
飛雪紛積素翻
杯酒留得乘取
夜半尚貪餘
真筆法
橋通通言
蕉子圖
嶺

と海人
流花
甘三

鳥乃行
柳
寺

北生山
樵火
補
高



形
も
ら
さ
さ

漢文
り
新
録
也

曉
月

但
り
古
市
風
耕

河の舟にのりて
かたしむるま
こころをわすれぬ
あはれ

河をたぐり宮と
流るる舟の死
後鳥羽院 御歌

舟の舟たふすの
小舟の舟と舟
すくく舟の舟た
ふす舟 義登



侍人 もたのくそ
後もあふり
中丁

阿伽多えの如き亀の車也
山
姨すまゝむらゝ此おれ

急事婦人月
信上田 東村山
西高

おらりのや
い素らん
ナニハ
梅後
稔のそ子

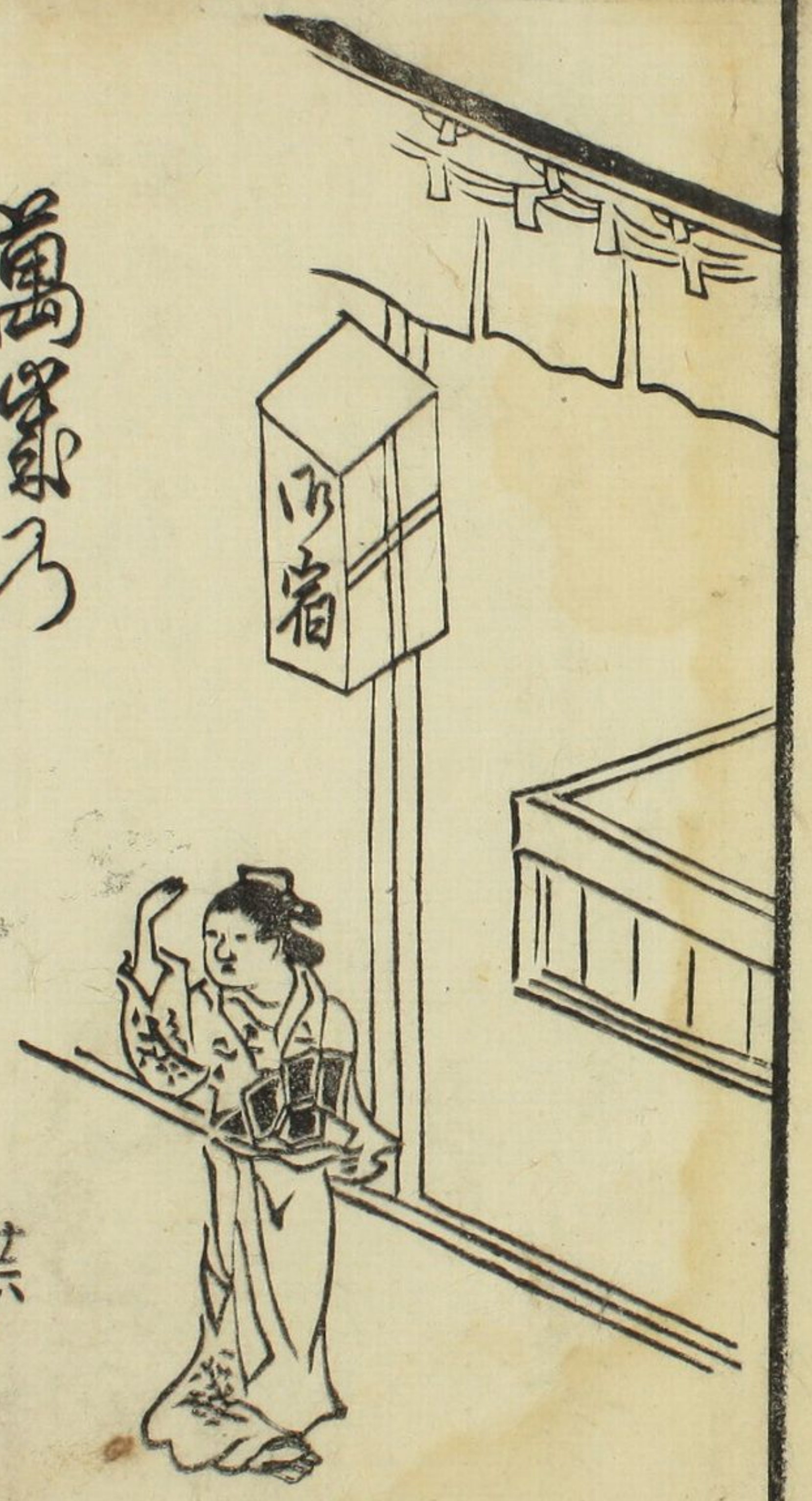


齋島

松尾のくま方
浪義 梅州
 うま方

おまろ親うま方
活速 許来
 花きり

押印
海形 吉家
 吉家



萬葉乃
 二
 坂里
十六

尺幅水々

月と成る秋様那

芦花

朔日は十二あるも三光

秋の意

室釵比喏おやそん秋乃々 月江



請看節後東山
多詠得解研一

取神

孫堂



石岳作
山岳
石岳作

石岳作
岳
石岳作

石岳作
岳
石岳作



石岳作

鶴

難波江のほとりかき河のほとり
くさくさみれはるるやうに鶴鹿

右三野波草 雜草

端午

初憺いさくしてまはるるさくの
わらふつよきぬあやめき

同 雷門橋

秋夕

さくしきのさくしきのさくし
小ききくく秋乃夕暮 事多留

同 律巴亭

